

令和2年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事務事業名		社会教育総務費一般経費 (コード) 1005015050			担当課	社会教育課	作成責任者	大江 聡		
歳出費目		款 教育費	項 社会教育費	目 社会教育総務費	事業	社会教育総務費一般経費		R1新規	-	
事業属性	総計	分野名	(分野7)住民が主人公となるまち		分野名					
		施策名	(施策4)未来を見据えた行財政運営		施策名					
		開始年度	平成17(2005)	終了予定年度	令和8(2026)	関連計画等				
		根拠法令等								
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府制度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )					類型	内部管理型		
基礎情報	事業目的 (目指す姿。何をどんな状態にしたいのか。)	社会教育課の他に分類されない事務事業を推進することで、本町の社会教育推進の側面支援を行うものです。								
	対象	全町民	対象数	21,219 (単位)	人	単当たりコスト	0.009			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 ( ) (委託先・実施主体等) 与謝野町教育委員会								
	事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	公用車燃料代を支出することにより、各種事業の実施・調整等の推進 全般的な研修会等への参加を通じての職員資質向上 など								
	取組実績と 経費内訳 (R1実績)	R1取組実績				経費科目(節・細節)		R1決算(千円)		
		公用車の運行				需用費 燃料代		89		
		研修会、会議等参加費				旅費 普通旅費		7		
						使費 通行料		19		
		事務の円滑な遂行				需用費 消耗品費		10		
	執行の状況	区 分			H30	H30繰越	R1	R2	R3	R4
事業費…①		財源内訳	一般財源	149	0	125	137	137	137	
			国支出金							
			府支出金							
			地方債							
			その他特財							
		歳入費目(項)								
特定財源 名称										
職員人件費		従事職員数(正職/正職以外)		0.01/0	0.01/0	0.01/0	0.01/0	0.01/0	0.01/0	
		概算人件費…②		75	75	75	75	75		
総事業費(①+②)…③			224	200	212	212	212			
			総事業費(R2~R4)			636				
事業費の うごき	事業費…①の前年度増減率			-16%	10%	0%	0%			
	上記増減理由(30%以上の増減の場合記入)									
業績指標	事業目的達成のための成果指標 (アウトカム) 実績/当初目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標		
				/	/	/	/			
				/	/	/	/			
	指標で表せない成果・効果	社会教育全般を下支えする経費であり、特定の成果に結びつくものではない								
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標		
				/	/	/	/			
		単位あたりコスト…③/実績		/	/	/	/			
			/	/	/	/				
	単位あたりコスト…③/実績		/	/	/	/				
			/	/	/	/				

注)「概算人件費」欄は、便宜上、人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

項 目		評価	評価に対する説明	
一次評価（担当課による自己評価）	必要性	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	—	社会教育全般を下支えする経費であり、必要性はあるものの評価の基準を定め難い
		民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	—	—
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	—	—
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	—	社会教育全般を下支えする経費であり、効率性の評価の基準を定め難い
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	—	—
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	—	—
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	—	社会教育全般を下支えする経費であり、有効性の評価の基準を定め難い
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	—	—
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	—	—
目的及び指標等の達成状況に対する評価	社会教育全般を下支えする経費であり、特定の事業として評価することは困難です。			
今後の課題及び方向性【担当課長記入】	社会教育全般を下支えする経費として、必要なものであると考えます。			
庁内及び外部による評価	二次評価（庁内）【行革担当課記入】	所 見		
	二次評価（外部）【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
	予算への反映【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	
		予算額の反映状況	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

令和2年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事務事業名		公民館維持管理事業 (コード) 105020101			担当課	社会教育課	作成責任者	大江 聡	
歳出費目		款 教育費	項 社会教育費	目 公民館費	事業	公民館管理運営事業		R1新規	-
事業属性	総計	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち		分野名				
		施策名	(施策3)生涯学習社会の実現と人権教育の推進		施策名				
		開始年度	平成17(2005)	終了予定年度	令和8(2026)	関連計画等			
		根拠法令等	社会教育法、与謝野町公民館条例						
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府制度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )					類型	施設管理型	
基礎情報	事業目的 (目指す姿。何をどんな状態にしたいのか。)	町立公民館の適正管理を行うことで、生涯学習活動の推進を図ることを目的としています。							
	対象	与謝野町町民	対象数	21,219 (単位)	人	単当たりコスト	0.961		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 ( ) (委託先・実施主体等) 与謝野町教育委員会							
	事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	中央公民館の維持管理 加悦地域公民館の維持管理 ※公民館長・主事の雇用、光熱水費等の執行、修繕 など							
	取組実績と経費内訳 (R1実績)	R1取組実績				経費科目(節・細節)		R1決算(千円)	
		中央公民館の維持管理				報酬 館長報酬	649		
		加悦地域公民館の維持管理				共済費	651		
						賞金 公民館主事	4,021		
						需用費 光熱水費、修繕費他	1,749		
						役務費 電話料、保険料他	254		
					委託料 管理、清掃他	1,952			
					使賞 PC使賞他	113			
					報酬 館長報酬	649			
					共済費	618			
					賞金 公民館主事、夜間管理	4,581			
					需用費 光熱水費、修繕費他	1,979			
					役務費 電話料、保険料他	237			
					委託料 管理、清掃他	1,380			
					使賞 PC使賞他	153			
執行の状況	区分		H30	H30繰越	R1	R2	R3	R4	
	事業費…①	事業費…①	8,907		8,452	8,201	8,201	8,201	
		財源内訳	一般財源	8,554	0	8,270			
			国支出金						
			府支出金						
			地方債						
			その他特財	353		182			
	特定財源名称	公民館使用料			182	歳入費目(項)			
						使用料			
	職員人件費	従事職員数(正職/正職以外)	0.10/4.91		0.10/4.91	0.10/5.51	0.10/5.51	0.10/5.51	
概算人件費…②		11,932		11,932	15,894	15,894	15,894		
総事業費(①+②)…③	20,839		20,384	24,095	24,095	24,095			
		総事業費(R2~R4)			72,285				
事業費のうごき	事業費…①の前年度増減率			-5%	-3%	0%	0%		
	上記増減理由(30%以上の増減の場合記入)								
業績指標	事業目的達成のための成果指標 (アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標	
		町民人口に対する中央・加悦地域公民館の利用者の割合	%	/	45/80	/80	/80	80(H38)	
	指標で表せない成果・効果								
	活動実績 (アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標	
		公民館長及び主事の配置	人	/	5/5	/6	/6	6(H38)	
		単位あたりコスト…③/実績							
		適正配置・適正管理館数	館	/	2/2	/2	/2	2(H38)	
		単位あたりコスト…③/実績							
				/	/	/	/		
		単位あたりコスト…③/実績							

注)「概算人件費」欄は、便宜上、人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

項目		評価	評価に対する説明	
一次評価（担当課による自己評価）	必要性	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	多数の利用実績がある
		民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	○	広域的な集会機能として行政が運営する必要がある
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	生涯学習の拠点としての施設は必要である
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	×	維持管理に対する使用料がきわめて少ない
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	合併協議の中で決められた使用料ではあるが、そこを根拠とするのではなく、受益者負担的な考え方を導入する余地はある
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	各施設でコスト削減に取り組んでいる
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	多数の町民の集会機能であることが分かる
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	見込みどおり推移しているが、投入資源とのバランスは検討する必要がある
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	他市町村の状況は一定把握している
目的及び指標等の達成状況に対する評価	<p>成果実績が、目標を下回っています。          成果実績は過去の利用実績を目標値として設定していますが、下落の原因としては、中央公民館大会議室・研修室のエアコンが故障による夏の利用が大きく減ったことなど、加悦地域公民館大ホール的一般利用の中止(学童として利用)によるものと推察されます。          公民館の使用料は、受益者に光熱水費等を応分負担させるという成り立ちではなく、また社会教育団体の活動支援の目的もあり、減免の幅が大きいなど、基本的に赤字が前提の設計となっています。          施設の性格や人口規模等から黒字化は不可能としても、受益者負担の考えを導入した使用料の設定について、検討する余地はあると考えます。          また、町の人口規模等から勘案した場合、維持する施設の数についても、検討する余地はあると考えます。</p>			
今後の課題及び方向性【担当課長記入】	<p>加悦地域公民館については、存続の方針を地域住民に対して示しており、施設は維持をしていく必要があると考えています。その一方で、中央公民館については、廃止の方針を打ち出しているものの、第三者委員会の答申待ちとなっています。大きな本町の方針としては、公民館統合ですが、その道筋は不明瞭です。しかし、統合が可能となった際には、効率的な職員配置を検討していく必要があると考えます。</p>			
庁内及び外部による評価	二次評価（庁内）【行革担当課記入】	所見		
	二次評価（外部）【行革担当課記入】	所見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内容	
	予算への反映【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	
		予算額の反映状況	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

令和2年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事務事業名	公民館活動事業 (コード) 1005020201			担当課	社会教育課		作成責任者	大江 聡				
	歳出費目	款 教育費	項 社会教育費	目 公民館費	事業	公民館活動費		R1新規	-				
	総計	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名							
		施策名	(施策3)生涯学習社会の実現と人権教育の推進			施策名							
		開始年度	平成17(2005)	終了予定年度	令和8(2026)		関連計画等						
		根拠法令等	社会教育法										
基礎情報	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府制度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )							類型	一般型			
	事業目的 (目指す姿、何をどんな状態にしたいのか。)	社会教育法において、「公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もつて住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする」とされているように、単なる貸館業務だけでなく、各種事業の実施を通じて、前述の目的の達成に向けて取り組む必要があります。本事業は、公民館活動の実施や支援を通じての生涯学習の推進を図ることを目的とするものです。											
	対象	本事業参加者数			対象数	315 (単位) 人		単当たりコスト	2.803				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
		(委託先・実施主体等) 与謝野町教育委員会											
	事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	中央公民館・加悦地域公民館の公民館活動 地区公民館長・主事会議の開催、与謝野町公民館連絡協議会活動の推進 上部団体との連携											
	取組実績と経費内訳 (R1実績)	R1取組実績				経費科目(節・細節)			R1決算(千円)				
		中央公民館・加悦地域公民館の公民館活動				報償費 講師謝金				50			
						需用費 消耗品費				23			
		与謝野町公民館連絡協議会活動の推進(視察等)				報償費 謝礼				3			
上部団体との連携(上部団体主催の研修会参加、負担金の支出)				旅費				4					
				使費 通行料				9					
				負補交 与公連負担金等				45					
執行の状況	区 分			H30	H30繰越	R1	R2	R3	R4				
	事業費…①	財源内訳	一般財源	180	0	134	358	358	358				
			国支出金										
			府支出金										
			地方債										
			その他特財										
			特定財源名称										
	職員人件費	従事職員数(正職/正職以外)	0.10/0	0.10/0	0.10/0	0.10/0	0.10/0						
		概算人件費…②	749	749	749	749	749						
	総事業費(①+②)…③	929	883	1,107	1,107	1,107							
			総事業費(R2~R4)				3,321						
事業費のうごき	事業費…①の前年度増減率				-26%	167%	0%	0%					
	上記増減理由(30%以上の増減の場合記入)					町公連支援予算の増額による							
業績指標	事業目的達成のための成果指標 (アウトカム)実績/当初目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標					
		町民人口に対する事業参加者の割合	%	/	1.5/1	/1	/1	1(R8)					
	指標で表せない成果・効果												
	活動実績 (アウトプット)実績/当初見込	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標					
		公民館講座の開催	回	/	11/10	/10	/10	10(R8)					
		単位あたりコスト…③/実績											
		地区公民館長・主事への研修機会等の提供	回	/	3/3	/3	/3	3(R8)					
		単位あたりコスト…③/実績											
		単位あたりコスト…③/実績											

注)「概算人件費」欄は、便宜上、人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

項 目		評価	評価に対する説明	
一次評価（担当課による自己評価）	必要性	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	公民館講座の計画にあたってはニーズを想定している
		民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	△	地区公民館活動も盛んであり、生涯学習講座との一本化を検討する余地はある
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	生涯学習の推進の手段としては妥当である
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	講師単価は町臨時職員の単価を基準にしているため適切
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	生涯学習講座との一本化は検討の余地がある
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	府補助事業による事業実施も行っている
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	参加割合の目標値は、これまでの実績値であり、その維持を目標としている
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	講座数等は、これまでの実績値であり、その維持を目標としている
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	他市町等の公民館活動の内容把握には努めている
目的及び指標等の達成状況に対する評価	<p>成果実績・活動実績共に、概ね当初目標を達成しています。          公民館活動は、地区公民館活動でも実施しており、一定充実している中、知遊館で開催している生涯学習講座と一本化し、効率化を図ることには検討の余地があると考えます。          また、与謝野町公民館連絡協議会のための研修会を充実させるなど、地区公民館活動の推進のための側面的な事業の充実を図ることも検討できます。</p>			
今後の課題及び方向性【担当課長記入】	<p>従来から中央・加悦地域公民館で直接実施していた事業は当面継続するとしても、施設統廃合のタイミングで知遊館の生涯学習講座との統合を検討していく必要があると考えます。          また、与謝野町公民館連絡協議会との連携についても考えていく必要があります。</p>			
庁内及び外部による評価	二次評価（庁内）【行革担当課記入】			
	二次評価（外部）【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
	予算への反映【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	

令和2年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事務事業名		地区公民館維持管理事業 (コード) 1005020301			担当課	社会教育課		作成責任者	大江 聡			
歳出費目		款	教育費	項	社会教育費	目	公民館費	事業	地区公民館管理運営事業	R1新規	-	
事業属性	総計	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち				分野名					
		施策名	(施策3)生涯学習社会の実現と人権教育の推進				施策名					
		開始年度	平成17(2005)		終了予定年度	令和8(2026)		関連計画等				
		根拠法令等	社会教育法、与謝野町公民館条例									
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府制度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )							類型	施設管理型		
基礎情報	事業目的 (目指す姿。何をどんな状態にしたいのか。)	地区の中核施設である地区公民館の維持管理に対し支援を行うことで、地区の活性化を図ることを目的とするものです。										
	対象	公民館活動実施の20地区			対象数	18,591 (単位) 人		単位当たりコスト	0.450			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 ( ) (委託先・実施主体等) 教育委員会、地区公民館										
	事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	地区公民館の維持管理(20館)										
	取組実績と経費内訳 (R1実績)	R1取組実績							経費科目(節・細節)		R1決算(千円)	
		地区公民館通常管理							需用費 光熱水費	5,853		
									役務費 電話料、火災保険他	910		
									委託料 浄化槽維持管理他	359		
									使費 放送受信料	291		
	地区公民館修繕 (三河内・岩屋 消防設備修繕、四辻 ホール照明修繕)							需用費 修繕料	204			
執行の状況	区分			H30	H30繰越	R1	R2	R3	R4			
	事業費…①	財源内訳	一般財源	7,712	0	7,617	6,921	6,921	6,921			
			国支出金	7,705		7,610						
			府支出金									
			地方債									
			その他特財	7		7						
			特定財源名称	公民館使用料			7					
		公民館修繕に係る地元寄附金			17							
	職員人件費	従事職員数(正職/正職以外)	0.10/0	0.10/0		0.10/0	0.10/0	0.10/0				
		概算人件費…②	749		749	749	749	749				
総事業費(①+②)…③		8,461		8,366	7,670	7,670	7,670					
					総事業費(R2~R4)		23,010					
事業費のうごき	事業費…①の前年度増減率					-1%	-9%	0%	0%			
	上記増減理由(30%以上の増減の場合記入)											
業績指標	事業目的達成のための成果指標 (アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標				
		町民人口に対する地区公民館の利用者の割合	%	/	274.2/300	/300	/300	300(H38)				
	指標で表せない成果・効果			/	/	/	/					
	活動実績 (アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標				
		地区公民館の適正配置・適正管理館数	館	/	20/20	/20	/20	20(H38)				
		単位あたりコスト…③/実績		/	/	/	/					
		単位あたりコスト…③/実績		/	/	/	/					
		単位あたりコスト…③/実績		/	/	/	/					

注)「概算人件費」欄は、便宜上、人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

項 目		評価	評価に対する説明	
一次評価（担当課による自己評価）	必要性	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	○ 地域の中核施設として必要不可欠、その一方で「公民館」という位置づけしかないかは議論の余地がある	
		民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	△ 電気代等が行政の負担となっているが、施設の性格の検討と併せて議論する余地はある	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○ 地域活性化の拠点である	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	－	地域活性化のための施設として、いかにあるべきかという議論の中で、営利活動により収益をあげるといったようなことも検討しつつ、考えていくことが必要
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	－	〃
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	－	〃
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	多くの区民が利用をされている
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	見込みどおり配置されている
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	周辺自治体の状況は一定把握をしている
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	<p>成果実績、活動実績共に概ね当初目標を達成しています。          ここで言う地区公民館は、条例で規定されている地区公民館であり、社会教育法の制約を受けます。          そのため、営利活動等に制限が掛かり、地域の自由な活用という点では、一定の課題があります。          地域活性化のための拠点として、集会所は必要不可欠ですが、必ずしも「公民館」でなくても良く、今後、地区のあり方の検討と併せて議論が必要になると考えます。</p>		
今後の課題及び方向性【担当課長記入】	<p>地区公民館は、所有者が本町と地区の2種類があり、所有者の形態を統一して行くことが大きな課題となっています。          現在進みつつある地区のあり方検討の動きに合わせて、公民館という施設の性格だけでなく、所有者の整理も必要になっていくものと考えます。</p>			
庁内及び外部による評価	二次評価（庁内）【行革担当課記入】	所 見		
	二次評価（外部）【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
	予算への反映【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	
		予算額の反映状況	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	



令和2年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事務事業名	地区公民館活動推進事業 (コード) 1005020302			担当課	社会教育課		作成責任者	大江 聡		
	歳出費目	款 教育費	項 社会教育費	目 公民館費	事業	地区公民館管理運営事業		R1新規	-		
	総計	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名					
		施策名	(施策3)生涯学習社会の実現と人権教育の推進			施策名					
	開始年度	平成17(2005)	終了予定年度	令和8(2026)		関連計画等					
	根拠法令等	社会教育法、与謝野町公民館条例									
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府制度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )							類型	一般型		
基礎情報	事業目的 (目指す姿、何を どんな状態にし たいのか。)	地区公民館の館長・主事を中心にした自発的な公民館活動に対する支援を行うことで、地区の活性化を図ることを目的とするものです。									
	対象	公民館活動実施の20地区	対象数	18,591 (単位) 人		単当たりコスト	0.508				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 ( ) (委託先・実施主体等) 地区公民館、教育委員会									
	事業概要 (やり方、手順、手 段、手法)	地区公民館長・主事の委嘱 地区公民館活動事業の実施(委託)									
	取組実績と 経費内訳 (R1実績)	R1取組実績				経費科目(節・細節)		R1決算(千円)			
		地区公民館長・主事の委嘱				報償費 謝金		3,280			
地区公民館活動の実施(委託事業)				委託料 地区公民館活動委託料		5,410					
執行の状況	区 分			H30	H30繰越	R1	R2	R3	R4		
	事業費…①	財源内訳	一般財源	8,690	0	8,690	9,510	9,510	9,510		
			国支出金								
			府支出金								
			地方債								
			その他特財								
		特定財源 名称									
	職員人件費	従事職員数(正職/正職以外)		0.10/0		0.10/0	0.10/0	0.10/0	0.10/0		
		概算人件費…②		749		749	749	749	749		
	総事業費(①+②)…③			9,439		9,439	10,259	10,259	10,259		
					総事業費(R2~R4)		30,777				
事業費の うごき	事業費…①の前年度増減率				0%	9%	0%	0%			
	上記増減理由(30%以上の増減の場合記入)										
業績指標	事業目的達成のための成果指標 (アウトカム) 実績/当初目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標			
		地区公民館活動講座実施件数	回	/	251/250	/250	/250	250(H38)			
		指標で表せない 成果・効果		/	/	/	/				
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見 込	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標			
		地区公民館長・主事の委嘱人数	人	/	40/40	/40	/40	40(H38)			
		単位あたりコスト…③/実績		/	/	/	/				
		単位あたりコスト…③/実績		/	/	/	/				
単位あたりコスト…③/実績		/	/	/	/						
単位あたりコスト…③/実績		/	/	/	/						

注)「概算人件費」欄は、便宜上、人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

項 目		評価	評価に対する説明			
一次評価（担当課による自己評価）	必要性	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	地域活性化の大きな推進力となっている		
		民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	○	地域の活力を活かすため行政としての支援が必要		
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	△	目的としては適切であるが「委託」という形式が適切かは議論の余地がある		
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	地域の方の力が活かされており、委託料以上の活性化効果があると判断		
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	近隣市町村の状況は一定把握している。特に館長に関する謝金についてはきわめて低額である(R2より若干改善)		
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○			
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	多くの講座を実施いただいている		
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	活動の中核となる館長・主事の委嘱は適切に行われている		
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	事業実施には地域の活力が活かされている		
目的及び指標等の達成状況に対する評価	<p>成果実績、活動実績共に概ね当初目標を達成しています。  地区公民館維持管理事業が、ハード面に対する支援に対し、ソフト面での支援となります。  地区公民館のハード面と同様に、地域の活性化のために各種講座や課題解決に繋がる事業の実施は必要ですが、必ずしも公民館活動と言う形式を取る必要はなく、ハード面での議論と併せて議論をしていく必要があると考えます。</p>					
今後の課題及び方向性【担当課長記入】	<p>令和2年度から地区の在り方についての調査事業が実施予定ですが、その議論に併せて、公民館活動の見直しも行っていく必要があると考えています。</p>					
庁内及び外部による評価	二次評価（庁内）【行革担当課記入】	所 見				
	二次評価（外部）【行革担当課記入】	所 見				
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<table border="1"> <thead> <tr> <th>方針区分</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <input type="checkbox"/> 廃止/休止  <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替  <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し  <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し  <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し  <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし </td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	方針区分	内 容	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	方針区分	内 容				
<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし						
予算への反映【財政担当課記入】	<table border="1"> <thead> <tr> <th>予算額の反映状況</th> <th>担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <input type="checkbox"/> 維持      <input type="checkbox"/> 組替  <input type="checkbox"/> 縮減      <input type="checkbox"/> 廃止/休止  <input type="checkbox"/> 拡充 </td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	予算額の反映状況	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		
予算額の反映状況	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】					
<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充						

令和2年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事務事業名		知遊館維持管理事業 (コード) 1005030101			担当課	社会教育課		作成責任者	大江 聡			
歳出費目		款	教育費	項	社会教育費	目	知遊館費	事業	知遊館維持管理事業	R1新規	-	
事業属性	総計	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち				分野名					
		施策名	(施策3)生涯学習社会の実現と人権教育の推進				施策名					
		開始年度	平成17(2005)		終了予定年度	令和8年(2026)		関連計画等				
		根拠法令等	与謝野町生涯学習センター知遊館条例									
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府制度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )						類型	施設管理型			
基礎情報	事業目的 (目指す姿。何をどんな状態にしたいのか。)	生涯学習センター知遊館を適切に管理運営することにより、生涯学習の推進を図ることを目的とする										
	対象	与謝野町町民			対象数	21,219 (単位) 人		単位当たりコスト	1,350			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 ( ) (委託先・実施主体等) 与謝野町教育委員会										
	事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	知遊館の維持管理										
	取組実績と経費内訳 (R1実績)	R1取組実績						経費科目(節・細節)		R1決算(千円)		
		知遊館維持管理費						報酬 館長報酬	1,298			
								共済費	934			
								賃金 公民館主事、清掃作業員	5,820			
								報償費 知遊館運営委員会	60			
								需用費 光熱水費、修繕費他	6,637			
						役務費 電話料、保険料他	386					
						委託料 総合管理、夜間等管理、清掃他	5,782					
						使費 PC使費他	178					
執行の状況	区分			H30	H30繰越	R1	R2	R3	R4			
	事業費…①	財源内訳	一般財源	11,149	0	12,129						
			国支出金									
			府支出金									
			地方債									
			その他特財	1,066		932						
		特定財源 名称	知遊館使用料			932						
	職員人件費	従事職員数(正職/正職以外)	1.01/3.60		1.01/3.60							
		概算人件費…②	15,595		15,595	13,318	13,318	13,318				
	総事業費(①+②)…③	27,810		28,656	26,776	26,776	26,776	26,776				
					総事業費(R2~R4)	80,328						
事業費の うごき	事業費…①の前年度増減率				7%	3%	0%	0%				
	上記増減理由(30%以上の増減の場合記入)											
業績指標	事業目的達成のための成果指標 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標				
		知遊館の利用率	%	/	81.1/100	/100	/100	100(H38)				
		指標で表せない 成果・効果		/	/	/	/					
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標				
		館長及び主事・管理員の配置	人	/	4/4	/4	/4	4(H38)				
		単位あたりコスト…③/実績		/	/	/	/					
単位あたりコスト…③/実績												
単位あたりコスト…③/実績												

注)「概算人件費」欄は、便宜上、人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

項 目		評価	評価に対する説明	
一次評価（担当課による自己評価）	必要性	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	多くの町民に利用されている
		民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	○	町の中核的な集会施設として運営していく必要がある
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	ホールや研修室等を備えた施設は必要
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	×	維持管理に対する使用料がきわめて少ない
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	合併協議の中で決められた使用料ではあるが、そこを根拠とするのではなく、受益者負担的な考え方を導入する余地はある
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	長期継続契約の実施などコスト削減に取り組んでいる
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	多数の町民の集会機能であることが分かる
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	見込みどおり推移しているが、投入資源とのバランスは検討する必要がある
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	他市町村の状況は一定把握している
目的及び指標等の達成状況に対する評価	<p>成果実績、活動実績共に概ね当初目標を達成しています。          公民館管理運営事業と同様に使用料は、受益者に光熱水費等を応分負担させるという成り立ちではなく、また社会教育団体の活動支援の目的もあり減免の幅が大きいなど、基本的に赤字が前提の設計となっています。          施設の性格や人口規模等から黒字化は不可能としても、受益者負担の考えを導入した使用料の設定について検討する余地はあります。</p>			
今後の課題及び方向性【担当課長記入】	<p>本町唯一の生涯学習センターであると共に岩滝地域公民館としての性格も有しています。          直営公民館の中では、規模も大きく、施設も新しいため、今後の本町の中核を担う公民館としての役割が期待されます。          ただし、他の公民館同様に料金設定が維持管理費等を勘案したものとなっていないため、見直しは必要であると考えます。</p>			
庁内及び外部による評価	二次評価（庁内）【行革担当課記入】	所 見		
	二次評価（外部）【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
	予算への反映【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	
		予算額の反映状況	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

令和2年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事務事業名	文化財保護委員会運営事業 (コード) 10050402			担当課	社会教育課	作成責任者	加藤晴彦			
	歳出費目	款	教育費	項	社会教育費	目	文化財保護費	事業	文化財保護委員会運営事業 R1新規	-	
	総計	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち				分野名				
		施策名	(施策5)文化財の継承と発展				施策名				
	開始年度	平成17(2005)	終了予定年度	永年			関連計画等	与謝野町文化財保存活用基本計画			
	根拠法令等	与謝野町文化財保護条例									
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府制度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )						類型	一般型			
基礎情報	事業目的 (目指す姿。何をどんな状態にしたいのか。)	国民の共有財産である文化財を将来に守り伝えるために、指定文化財への答申や行政施策に対する助言等を行う組織の運営です。									
	対象	文化財保護委員	対象数	10	(単位)	人	単当たりコスト	44.300			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 ( ) (委託先・実施主体等)									
	事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	○文化財行政への助言を行うのに適切な人物を文化財保護委員に委嘱します。 ○委員会を開催して指定文化財への答申や事業の報告と計画を審議し、町の文化財行政の運営に助言を行うものです。									
	取組実績と経費内訳 (R1実績)	R1取組実績			経費科目(節・細節)			R1決算(千円)			
		第1回与謝野町文化財保護委員会、7月19日			文化財保護委員報酬			30			
両丹文化財保護連絡協議会、10月30日			文化財保護委員報酬			18					
第2回与謝野町文化財保護委員会、3月5日			文化財保護委員報酬			21					
執行の状況	区分			H30	H30繰越	R1	R2	R3	R4		
	事業費…①	財源内訳	一般財源	63	0	69	60	60	60		
			国支出金								
			府支出金								
			地方債								
			その他特財								
		特定財源 名称									
	職員人件費	従事職員数(正職/正職以外)	/	0.05/0	0.05/0	0.05/0	0.05/0	0.05/0			
		概算人件費…②		374	374	374	374				
	総事業費(①+②)…③		63	443	434	434	434				
	総事業費(R2~R4)			1,302							
事業費の うごき	事業費…①の前年度増減率		10%	-13%	0%	0%					
	上記増減理由(30%以上の増減の場合記入)										
業績指標	事業目的達成のための成果指標 (アウトカム) 実績/当初目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標			
		文化財保護委員会議の開催	件	1/1	1/1	1/1	1/1	1			
	指標で表せない 成果・効果	町民の文化財の価値への理解度no数値化は困難。									
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標			
		町文化財保護委員会議の開催	件	1/1	1/1	1/1	1/1	1			
		単位あたりコスト…③/実績			443.0						
単位あたりコスト…③/実績			/	/	/	/					
単位あたりコスト…③/実績		/	/	/	/						
単位あたりコスト…③/実績		/	/	/	/						

注)「概算人件費」欄は、便宜上、人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

項 目		評価	評価に対する説明	
一次評価（担当課による自己評価）	必要性	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	地域を形成し、そこに暮らす人々の地域の歴史文化に根差した固有である文化財を保護する事業である。ニーズを持つ地域社会・町民そのものを形成する事象を把握し、守り伝えるものであり、専門性が必要であり、指定文化財レベルを民間事業者・町民が問うことは困難。ただし、「一般にとってのお宝」発見的な事業は可能ではあるが、文化財保護委員会が実施する事象ではない。少子高齢化による民俗芸能文化の消失への対応は優先度が高い。
		民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	△	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	－	本事業には不適切な概念である。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	－	本事業には不適切な概念である。
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	－	本事業には不適切な概念である。
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	－	測定方法がない。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	－	本事業には不適切な概念である。
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	文化財の調査研究は、先行研究の把握は必須であり、当然、実施している。
目的及び指標等の達成状況に対する評価	委員会を年1回開催し、助言をいただいております、組織として機能しています。			
今後の課題及び方向性【担当課長記入】	事業の進捗や評価等への助言をいただくためには、年2回以上の委員会の開催が望ましいと考えます。			
庁内及び外部による評価	二次評価（庁内）【行革担当課記入】	所 見		
	二次評価（外部）【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
	予算への反映【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	
		予算額の反映状況	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

令和2年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事務事業名	文化財調査事業 (コード) 10050403		担当課	社会教育課	作成責任者	加藤晴彦					
	歳出費目	款	教育費	項	社会教育費	目	文化財保護費	事業	文化財保護・活用事業	R1新規	-	
	総計	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち				分野名					
		施策名	(施策5)文化財の継承と発展				施策名					
	開始年度	平成17(2005)	終了予定年度	永遠(適宜)		関連計画等	与謝野町文化財保存活用基本計画					
	根拠法令等											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府制度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )								類型	一般型		
基礎情報	事業目的 (目指す姿。何をどんな状態にしたいのか。)	国民の共有財産である文化財の情報及び価値を調査し、保護保存を図る基礎データを収集するものです。										
	対象	調査文化財数	対象数	(単位)	件	単当たりコスト	#DIV/0!					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 ( ) (委託先・実施主体等)										
	事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	町内に多数ある文化財の基礎調査を実施し、その価値を判断するものです。										
	取組実績と経費内訳 (R1実績)	R1取組実績				経費科目(節・細節)			R1決算(千円)			
		文化財調査員の雇用(現在は、主に遺跡調査事業に従事)				賃金>その他賃金			3,155			
執行の状況	区分			H30	H30繰越	R1	R2	R3	R4			
	事業費…①	財源内訳	一般財源	3,575	0	3,219	4,672	3,672	3,672			
			国支出金									
			府支出金									
			地方債									
			その他特財				歳入費目(項)					
		特定財源名称										
	職員人件費	従事職員数(正職/正職以外)	/	0.10/0	0.10/0	0.10/0	0.01/0					
		概算人件費…②		749	749	749	749					
	総事業費(①+②)…③		3,575	3,968	5,421	4,421	4,421					
			総事業費(R2~R4)				14,263					
事業費のうごき	事業費…①の前年度増減率			-10%	45%	-21%	0%					
	上記増減理由(30%以上の増減の場合記入)				未定							
業績指標	事業目的達成のための成果指標 (アウトカム)実績/当初目標	指 標	単 位	H30	R1	R2	R3	最終目標				
		調査数	件	5/5	3/3	2/2	2/2	12				
	指標で表せない成果・効果	町民の文化財の価値への理解度										
	活動実績 (アウトプット)実績/当初見込	指 標	単 位	H30	R1	R2	R3	最終目標				
		文化財の基礎調査	件	5/5	3/3	2/2	2/2	3				
		単当たりコスト…③/実績		/	/	/	/					
単当たりコスト…③/実績			/	/	/	/						

注)「概算人件費」欄は、便宜上、人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

項 目		評価	評価に対する説明
一次評価（担当課による自己評価）	必要性	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	△ 未指定文化財の把握・調査のために必要である。
		民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	△ 調査量が激増した場合には民間業者へ委託することもあるが、現状では不要。
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	△ 遺跡発掘調査は、開発で消失する緊急性の状態への対応である。
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△ 最低限の調査である。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△ 大規模調査は実施しておらず、経費を勘案した実施体制である。
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△ 最低限の調査である。
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△ 基礎データの把握として有効である。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	—
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△ 常に研究を行っている。
目的及び指標等の達成状況に対する評価	適宜調査を実施し、基礎情報の把握に努めました。		
今後の課題及び方向性【担当課長記入】	整理作業を進め、一定の成果を活性化する必要があると考えます。 また、文化財指定候補の一覧化などの基礎台帳の整備も急務であると考えます。		
庁内及び外部による評価	二次評価（庁内）【行革担当課記入】	所 見	
	二次評価（外部）【行革担当課記入】	所 見	
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容
	予算への反映【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充
		予算額の反映状況	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】



令和2年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事務事業名	文化財保護事業 (コード) 10050403		担当課	社会教育課	作成責任者	加藤晴彦					
	歳出費目	款	教育費	項	社会教育費	目	文化財保護費	事業	文化財保護・活用事業	R1新規	-	
	総計	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち				分野名					
		施策名	(施策5)文化財の継承と発展				施策名					
	開始年度	平成17(2005)	終了予定年度	永遠(適宜)		関連計画等	与謝野町文化財保存活用基本計画					
	根拠法令等	文化財保護法										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府制度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )						類型	一般型				
基礎情報	事業目的 (目指す姿。何をどんな状態にしたいのか。)	国民の共有財産である文化財を適切な状態で将来に守り伝えるために実施する事業です。										
	対象	与謝野町町民			対象数	21,225 (単位)	人	単当たりコスト	0.118			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 ( ) (委託先・実施主体等)										
	事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	主に町が管理する町内の指定等文化財に対して、適切な状態で保護保存して行くために取り組む事業です。価値の定まったものは指定等を行うものです。										
	取組実績と経費内訳 (R1実績)	R1取組実績					経費科目(節・細節)		R1決算(千円)			
		京都府指定「滝のツバキ」樹勢回復事業					委託料>樹木管理委託料		459			
		文化庁・京都府主催の研修等参加、指定文化財保存協議					旅費>普通旅費		78			
	執行の状況	区分			H30	H30繰越	R1	R2	R3	R4		
事業費…①		財源内訳	一般財源	687	0	633	683	680	680			
			国支出金									
			府支出金									
			地方債									
			その他特財									
		特定財源名称										
職員人件費		従事職員数(正職/正職以外)	/	0.25/0	0.25/0	0.25/0	0.25/0	0.25/0				
		概算人件費…②		1,871	1,871	1,871	1,871	1,871				
総事業費(①+②)…③			687	2,504	2,554	2,551	2,551	2,551				
	総事業費(R2~R4)			7,656								
事業費のうき	事業費…①の前年度増減率			-8%	8%	0%	0%					
	上記増減理由(30%以上の増減の場合記入)											
業績指標	事業目的達成のための成果指標 (アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標				
		保護施策の実施		5/5	5/5	5/5	5/5	5				
	指標で表せない成果・効果	滝のツバキは、樹木であるので、即効的な効果ははかれない。										
	活動実績 (アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標				
		滝のツバキの樹勢回復事業の実施回数	件	1/1	1/1	1/1	1/1	1				
		単当たりコスト…③/実績										
		研修会等参加・指定文化財保存協議	回	4/4	2/2	2/2	2/2	2				
単当たりコスト…③/実績												
単当たりコスト…③/実績		/	/	/	/							
単当たりコスト…③/実績												

注)「概算人件費」欄は、便宜上、人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

項 目		評価	評価に対する説明
一次評価（担当課による自己評価）	必要性	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	△ 文化財を適切な状態で守り伝えるために必要性がある。
		民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	△ 住民と一緒にできる部分もあるが、困難。
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	△ 守り伝えるために必要最低限な事業。
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△ 経費と手法は常に気にかけて実施した。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△ 同上
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△ 同上
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△ 必要最低限の実数である。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△ 同上
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△ 常に情報収集を行っている。
目的及び指標等の達成状況に対する評価	町有の指定等文化財に対して、一定の保護施策を実施することができました。また、研修会で知識を深めることができました。		
今後の課題及び方向性【担当課長記入】	本町指定文化財を新規に指定して行く必要があると考えます。そのためには、基礎調査と整理に基づき、指定答申の事務を進める必要があります。		
庁内及び外部による評価	二次評価（庁内）【行革担当課記入】	所 見	
	二次評価（外部）【行革担当課記入】	所 見	
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容
	予算への反映【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充
		予算額の反映状況	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

令和2年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事務事業名	文化財活用事業 (コード) 10050403			担当課	社会教育課		作成責任者	加藤晴彦			
	歳出費目	款	教育費	項	社会教育費	目	文化財保護費	事業	文化財保護・活用事業	R1新規	-	
	総計	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち				分野名					
		施策名	(施策5)文化財の継承と発展				施策名					
	開始年度	平成17(2005)	終了予定年度	永遠(適宜)		関連計画等	与謝野町文化財保存活用基本計画					
	根拠法令等	文化財保護法										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府制度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )							類型				
基礎情報	事業目的 (目指す姿。何をどんな状態にしたいのか。)	国民の共有財産である文化財を活用し、町民のみならず町外に対して、各文化財の個性、特質を活かした活用を行うことで、より深い理解を促し、かつ、適切な保護保存環境を構築することに繋げて行くものです。										
	対象	与謝野町町民			対象数	21,225 (単位)		単位当たりコスト	0.026			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 ( ) (委託先・実施主体等) 説明板設置業務は町内業者委託。										
	事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	指定文化財の説明板の更新や広報誌への原稿掲載などを行い広く周知するものです。また、史跡整備に熱心な自治体で構成される全史協大会に参加し、整備活用情報の収集を行い本町文化財行政に活かして行くものです。										
	取組実績と経費内訳 (R1実績)	R1取組実績				経費科目(節・細節)			R1決算(千円)			
		文化財説明板の設置(主に指定文化財の説明板を設置・更新する)				委託料>事業委託料			39			
		史跡活用事例の研究(全史協旅費、全史協役員である)				旅費>普通旅費 (町長旅費は総務課)			84			
		大風呂南1号墓出土品の特別公開							0			
		月刊広報よさの「時の贈り物」原稿作成(年6回)							0			
	執行の状況	区分			H30	H30繰越	R1	R2	R3	R4		
事業費…①		財源内訳	一般財源	337	0	175	233	233	233			
			国支出金									
			府支出金									
			地方債									
			その他特財						歳入費目(項)			
		特定財源 名称										
職員人件費		従事職員数(正職/正職以外)	/	0.05/0		0.05/0	0.05/0	0.05/0				
		概算人件費…②		374		374	374	374				
総事業費(①+②)…③		337	549		607	607	607					
			総事業費(R2~R4)			1,821						
事業費の うごき	事業費…①の前年度増減率				-48%	33%	0%	0%				
	上記増減理由(30%以上の増減の場合記入)				年度ごとに不定なため	未定						
業績指標	事業目的達成のための成果指標 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標				
		活用施策の実施	回	10/10	10/10	10/10	10/10	10				
	指標で表せない 成果・効果	町民及び町外者の理解度は数値化が難しい。										
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標				
		説明板設置等	本	3/3	1/1	3/3	3/3	6				
		単位あたりコスト…③/実績										
		広報誌への掲載	回	6/6	6/6	6/6	6/6	18				
		単位あたりコスト…③/実績										
			/	/	/	/	6					
	単位あたりコスト…③/実績											

注)「概算人件費」欄は、便宜上、人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

項 目		評価	評価に対する説明
一次評価（担当課による自己評価）	必要性	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	△ 保護保存と活用は、文化財行政の両輪であり、不可欠な事業である。
		民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	△ 住民と一緒にすることができる部分は多々あるが、学術的な部分は困難。
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	△ 保護保存には活用が不可欠で、活用のためには保護保存が前提でもある。
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△ コストは常に気にかけて実施している。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△ 同上
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△ 同上
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△ 数値化等の把握が困難である。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△ 同上
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△ 常に事例に関する情報を確認している。
目的及び指標等の達成状況に対する評価	事業費的に見れば、一定の実績で妥当と判断されます。		
今後の課題及び方向性【担当課長記入】	一層の工夫をして、もっと多くの町民や町外の方々に興味を持ってもらう取組をする必要があると考えます。		
庁内及び外部による評価	二次評価（庁内）【行革担当課記入】	所 見	
	二次評価（外部）【行革担当課記入】	所 見	
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容
	予算への反映【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充
		予算額の反映状況	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

令和2年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事務事業名		指定文化財等補助事業 (コード) 10050403			担当課	社会教育課	作成責任者	加藤晴彦		
歳出費目		款 教育費	項 社会教育費	目 文化財保護費	事業	文化財保護・活用事業		R1新規	-	
事業属性	総計	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち		分野名					
		施策名	(施策5)文化財の継承と発展		施策名					
		開始年度	平成17(2005)	終了予定年度	永年(適宜)	関連計画等	与謝野町文化財保存活用基本計画			
		根拠法令等	文化財保護法							
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府制度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )					類型	一般型		
基礎情報	事業目的 (目指す姿。何をどんな状態にしたいのか。)	国民の共有財産である文化財の内、指定等を受けている文化財に対して、将来に守り伝えるために、適切な状態で保護保存する事業に対する補助事業です。								
	対象	指定文化財所有者等	対象数	111 (単位)	件	単当たりコスト	9.721			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 ( ) (委託先・実施主体等)								
	事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	非公有物件の指定文化財等の修理等事業に対して、経費の一部を補助するものです。								
	取組実績と経費内訳 (R1実績)	R1取組実績				経費科目(節・細節)		R1決算(千円)		
		京都府指定「西光寺庭園」維持管理補助金(庭園の雪つり等事業に対する補助事業)				補助金>指定文化財等補助金		26		
町指定「八幡神社末社恵比寿神社の本殿」修理事業補助金				補助金>指定文化財等補助金		304				
執行の状況	区分			H30	H30繰越	R1	R2	R3	R4	
	事業費…①	財源内訳	一般財源	36	0	330	87	36	36	
			国支出金							
			府支出金							
			地方債							
			その他特財							
		特定財源名称								
	職員人件費	従事職員数(正職/正職以外)	/	0.10/0	0.10/0	0.10/0	0.10/0			
		概算人件費…②		749	749	749	749			
	総事業費(①+②)…③		36	1,079	836	785	785			
	総事業費(R2~R4)			2,406						
事業費のうごき	事業費…①の前年度増減率		817%	-74%	-59%	0%				
	上記増減理由(30%以上の増減の場合記入)		年度ごとに件数は不定なため	未定						
業績指標	事業目的達成のための成果指標 (アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標		
		補助事業の物件数	件	1/1	2/2	1/1	1/1	6		
	指標で表せない成果・効果	保護保存状態の効果は短期的には把握できない。								
	活動実績 (アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標		
		指定文化財の修理等への補助事業	件	1/1	2/2	1/1	1/1	5		
		単位あたりコスト…③/実績		/	/	/	/			
単位あたりコスト…③/実績			/	/	/	/				

注)「概算人件費」欄は、便宜上、人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

項 目		評価	評価に対する説明
一次評価（担当課による自己評価）	必要性	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	△ 補助要項に基づき、指定文化財所有者の事業要望に基づき協議した上で、対応していく必要がある。
		民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	－
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	△ 必要最低限の実施である。
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△ 補助要項に基づき、事業内容を精査した上で、補助を行った。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	－
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	－
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○ 補助を行ったことで、適切な環境管理が行われた。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	－ 同上
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△ 専門業者が実施している。
目的及び指標等の達成状況に対する評価	指定等文化財の保存保護事業への補助事業であり、適切な状態で将来に守り伝える上で相応しい事業を実施しました。		
今後の課題及び方向性【担当課長記入】	各指定等文化財の現況や今後の修理等の見通しを調査し、現状診断を台帳化することで効率的、計画的な補助事業の実施体制の構築が望まれます。		
庁内及び外部による評価	二次評価（庁内）【行革担当課記入】	所 見	
	二次評価（外部）【行革担当課記入】	所 見	
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容
	予算への反映【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充
		予算額の反映状況	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

令和2年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事務事業名	伝統的建造物群保存対策事業 (コード) 10050404			担当課	社会教育課	作成責任者	谷原 春加		
	歳出費目	款	教育費	項	社会教育費	目	文化財保護費	事業	伝統的建造物群保存対策事業 R1新規	-
	総計	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名				
		施策名	(施策5)文化財の継承と発展			施策名				
	開始年度	平成17年	終了予定年度	令和8年(2026)		関連計画等	与謝野町加悦伝統的建造物群保存地区保存計画			
	根拠法令等	文化財保護法、与謝野町伝統的建造物群保存地区保存条例 等								
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府制度事業 <input type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )						類型			
基礎情報	事業目的 (目指す姿。何をどんな状態にしたいのか。)	国の選定を受けている与謝野町加悦伝統的建造物群保存地区を、地域の歴史文化の象徴として適切な状態で将来に守り伝えることを目的とする。								
	対象	伝統的建造物群保存地区内の建築物等	対象数	253	(単位)	件	単位当りコスト	94.324		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 ( 伝建地区内の町所有物件については直接実施 ) (委託先・実施主体等) 物件所有者に対して補助金支出、所有者が業者選定を行い契約を締結								
	事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	・伝統的建造物群保存地区内の建物の保存を目的とした修理・修景等補助事業の実施 ・地区内の建物の保全および人命を守るための防災訓練および防災事業の検討・実施 ・加悦伝統的建造物群保存地区内の団体との連携、地区内住民の課題対応 修理・修景事業等に対する事業費のうち文化庁から1/2、京都府から1/4以内(ただし予算の範囲内)補助。								
	取組実績と 経費内訳 (R1実績)	R1取組実績				経費科目(節・細節)			R1決算(千円)	
		修理・修景補助事業 文化庁・京都府との補助事業に係る調整および申請、保存審議会の開催				報償費			68	
						旅費			73	
						需用費			131	
					負担金			53		
					補助金			16,879		
防災事業 防災学習会、消防訓練・避難訓練等の開催				報償費			45			
				旅費			33			
				委託料			197			
				旅費			96			
研修会等への参加 全国伝建協、伝建協(近畿ブロック)等 ちりめん街道を守り育てる会との連携 活動費補助、視察動向、伝建地区内の景観保全に係る活動 旧加悦町役場庁舎耐震改修事業(直接事業) 観光交流課、建設課と連携(予算は観光交流課)。 文化庁・京都府との耐震改修に係る補助金の調整・申請				補助金			300			
				-			-			
執行の状況	区分			H30	H30繰越	R1	R2	R3	R4	
	事業費①			29,138		17,875	25,658			
		財源内訳	一般財源	12,619	0	7,093				
			国支出金	13,894		8,482				
			府支出金	2,625		2,300				
			地方債							
			その他特財							
		特定財源 名称								
	職員人件費	従事職員数(正職/正職以外)		1/		1/	/	/	/	
		概算人件費②				5,989				
	総事業費(①+②)③			29,138		23,864	25,658	0	0	
	総事業費(R2~R4)						25,658			
	事業費の うごき	事業費①の前年度増減率				-39%	44%	-100%	#DIV/0!	
		上記増減理由(30%以上の増減の場合記入)				物件所有者の都合により修理事業の取り下げがあったため				
業績指標	事業目的達成のための成果指標 (アウトカム) 実績/当初目標		指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標	
			R元年度 国庫補助・京都府補助事業 事業実施	件	5/5	6/7	/7	/		
			R2年度 国庫補助・京都府補助事業 予定事業の調整	件	13/7	9/7	/	/		
			指標で表せない成果・効果	他伝建地区との情報共有、連携 修理・修景事業希望者との調整				同右		
			指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	保存審議会の開催				3/1	2/1	/1	/1	1
		単位あたりコスト③/実績								
		防災学習会等の開催				2/1	1/1	/0	/	
		単位あたりコスト③/実績								
		単位あたりコスト③/実績								
		防災学習会事業 R2年度予算額0円 今後の防災学習会等、防災関連事業のありかたを検討中								

注)「概算人件費」欄は、便宜上、人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

項目		評価	評価に対する説明
必要性	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	貴重な文化財資源であり観光重要拠点とされている伝統的建造物群保存地区「与謝野町加悦」、通称「ちりめん街道」の街並みを保持することが将来の与謝野町の発展につながると考える。
	民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	○	伝統的なまちなみを次世代に継承していくためには景観を保持するための工事費が高額に対する国・府・町の補助や、住民の理解が必要となるため、民間業者や町民だけでは実施できないものと
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	まちなみの保存には必要に応じて修理・修景工事を行うという手法しかないため、まちなみを保持するための手段としては適切であると考えられる。
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	伝統的なまちなみを保持するために町教育委員会の定めた規制があり、対応するためには経費がかさむため、他の補助事業に比べると補助率は高いものの、全国の伝建補助から見ても特別
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	-	直接事業ではなく間接事業への補助であるため、コスト比較が困難
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	積算資料については図書資料等で確認・比較、高額なものについては業者に説明を求めているものの、専門知識がない事務員では工事に関してコスト削減や効率化を行う所まではたどり着か
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	「まちなみの次世代への継承」という明確な目標をもとに、実績も国庫補助事業であるため把握・測定が行われている。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	各会議、年1~2回の開催を想定しており、急な対応が必要な場合には追加で会議を開催。主な経費は旅費・報償費であり、投入資源に見合っていると考える。
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	補助額全体のうち、文化庁が1/2を負担、京都府も1/4以内・予算の範囲内を負担するという補助率の高い精度を活用している。
一次評価（担当課による自己評価）	目的及び指標等の達成状況に対する評価		文化財的価値を損なわない修理・修景事業の実施により、建物・町並みの維持（保存）整備の推進における役割を履行。防災学習会、防災訓練等の防災事業の実施により、住民に対し、防災知識の提供と防災啓発の機会を設けた。
	今後の課題及び方向性【担当課長記入】		まちなみの保存に関して保存会と連携し地区住民等に声掛けを行っているものの、理解が十分浸透しているとは言えない。まちなみを次世代へ継承していくためには住民の理解が必要不可欠だが、選定から15年が経つ中で住民が高齢化したことによる意欲の低下、家主の代替わり等により、まちなみ保存への意識が薄れてきているように感じる。また、作事組等工事業者の一部にも「これくらいいいだろう」という自己判断による現状変更や仕様変更の工事が見られ、京都府等の建設部局に対しても伝建地区を軽視した工事を行われることもある。継続したまちなみ保存のためには、一層の地元住民への声掛けとともに、保存会および作事組、京都府や建設部局との更なる連携が求められ、担当職員の知識・人手不足に感じている。近年、現状変更許可申請がないまま外観を変更する工事を行われる、あるいは許可が出せない内容の工事を行われることが相次いでいるため、まずはまちなみの保存に関して地元住民や保存会等関係各所との更なる連携が望まれる。修理・修景事業の実施に関しては、補助事業希望はあるものの予算の都合で待機物件となっている物件がある状況が数年続いており、当面は継続的な事業の実施が必要であると考えている。
庁内及び外部による評価	二次評価（庁内）【行革担当課記入】	所見	
	二次評価（外部）【行革担当課記入】	所見	
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内容
	予算への反映【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	



令和2年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事務事業名	遺跡調査事業 (コード) 10050405			担当課	社会教育課	作成責任者	加藤晴彦		
	歳出費目	款	教育費	項	社会教育費	目	文化財保護費	事業	遺跡調査事業	
	総計	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名				
		施策名	(施策5)文化財の継承と発展			施策名				
		開始年度	平成17(2005)	終了予定年度	永遠(適宜)	関連計画等	与謝野町文化財保存活用基本計画			
		根拠法令等	文化財保護法							
基礎情報	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府制度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )						類型	緊急型	
	事業目的 (目指す姿。何をどんな状態にしたいのか。)	国民の共有財産である文化財の一分野である埋蔵文化財(遺跡)を記録保存(=発掘調査)という手法も含め、将来に亘り保護保存するための事業です。								
	対象	与謝野町町民			対象数	21,225 (単位)	人	単当たりコスト	0.221	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 ( ) (委託先・実施主体等)								
	事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	開発行為による損壊計画がある場合は、緊急発掘調査を実施するものです。 また、保護保存のために歴史的価値を図る目的で範囲確認や内容確認の発掘調査を実施し、指定要件に足り得るか否かを判断する資料を得て、場合によっては、史跡指定を目指し、保護して行くものです。								
	取組実績と経費内訳 (R1実績)	R1取組実績				経費科目(節・細節)		R1決算(千円)		
		国庫補助遺跡発掘調査事業(大風呂南墳墓群・地藏山遺跡)				全			2,521	
		日吉ヶ丘遺跡発掘調査事業				全			2,130	
執行の状況	区分			H30	H30繰越	R1	R2	R3	R4	
	事業費…①	財源内訳	一般財源	5,179	0	2,776	500	500	500	
			国支出金			1,250	1,000	1,000	1,000	
			府支出金			625	500	500	500	
			地方債							
			その他特財				歳入費目(項)			
		特定財源名称								
	職員人件費	従事職員数(正職/正職以外)	/	0.05/0	0.05/0	0.05/0	0.05/0			
		概算人件費…②		37	374	374	374			
	総事業費(①+②)…③		5,179	4,688	2,374	2,374	2,374			
	総事業費(R2~R4)			7,122						
事業費のうごき	事業費…①の前年度増減率			-10%	-57%	0%	0%			
	上記増減理由(30%以上の増減の場合記入)				未定					
業績指標	事業目的達成のための成果指標 (アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標		
		埋蔵文化財(遺跡)の保護保存件数		3/3	3/3	3/3	2/2	6		
	指標で表せない成果・効果		/	/	/	/				
	活動実績 (アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標		
		埋蔵文化財(遺跡)の発掘調査		3/3	3/3	3/3	2/2	6		
		単位あたりコスト…③/実績		/	/	/	/			
単位あたりコスト…③/実績			/	/	/	/				

注)「概算人件費」欄は、便宜上、人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

項 目		評価	評価に対する説明
一次評価（担当課による自己評価）	必要性		
	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	△	文化財保護法及び京都府教育委員会の発掘調査基準に基づき実施している。
	民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	△	民間遺跡調査機関はあるが、相当額の委託料が必要であり、今の事務局体制には民間業者利用の必要性は低いと考えている。
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	△	開発土木工事で消失する事態に直面している埋蔵文化財に対して保護対策として取り得る数少ない方策の一つであり、必要性は高い。
	効率性		
	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	一般的な調査手順を踏んでおり、現体制が最も機動的、かつ効率的である。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	現状が最底辺の調査である。
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	現状が最底辺の調査である。
	有効性		
	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	調査のレベル・質を客観的に測定することは容易ではないため、調査担当者の意識・技能にかかっている。
活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	現状が最底辺の調査である。	
先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	現状が最底辺の調査である。	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	緊急的な開発事業も含め、協議調整を踏まえ、適宜に対応できています。		
今後の課題及び方向性【担当課長記入】	本町による開発事業対応も含め、開発事業者に対して調査期間の確保が望まれます。できるだけ早期に開発事業計画を把握する体制の構築が不可欠であると考えます。		
庁内及び外部による評価	二次評価（庁内）【行革担当課記入】	所 見	
	二次評価（外部）【行革担当課記入】	所 見	
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容
	予算への反映【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充
		予算額の反映状況	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

令和2年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事務事業名	歴史文化基本構想策定事業 (コード) 10050406			担当課	社会教育課	作成責任者	加藤晴彦		
	歳出費目	款	教育費	項	社会教育費	目	文化財保護費	事業	歴史文化基本構想事業 R1新規 -	
	総計	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名				
		施策名	(施策5)文化財の継承と発展			施策名				
	開始年度	平成29(2017)	終了予定年度	令和3(2021)		関連計画等	与謝野町文化財保存活用基本計画			
	根拠法令等	文化財保護法								
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府制度事業 <input type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )							類型		
基礎情報	事業目的 (目指す姿。何をどんな状態にしたいのか。)	国民の共有財産である文化財を将来に守り伝えるため、来るべき時代の社会情勢を加味した総合的な文化財保護計画を策定し、文化財行政の指針とするものです。								
	対象	与謝野町町民		対象数	21,225 (単位)	人	単当たりコスト	0.255		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 ( ) (委託先・実施主体等)								
	事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	策定委員会で策定の方向性を協議し、総合的な文化財の把握調査を実施するものです。 また、関連文化財群や保存活用区域を設定し、文化財の保護活用を進める基盤とするものです。								
	取組実績と経費内訳 (R1実績)	R1取組実績			経費科目(節・細節)		R1決算(千円)			
		作成作業(委員会・原稿等)			賞金、報酬、旅費		1,303			
		資料調査			賞金・旅費他		235			
		学習会			報償、旅費		101			
	執行の状況	区分			H30	H30繰越	R1	R2	R3	R4
事業費…①		財源内訳	一般財源	103	0	68	48	50		
			国支出金	2,743		1,592	1,017	550		
			府支出金							
			地方債							
			その他特財							
			特定財源名称							
		歳入費目(項)								
職員人件費		従事職員数(正職/正職以外)	/	0.50/0	0.05/1	/	/			
概算人件費…②				3,743	3,743					
総事業費(①+②)…③		2,846	5,403	4,808	600	0				
総事業費(R2~R4)			5,408							
事業費のうごき	事業費…①の前年度増減率			-42%	-36%	-44%	-100%			
	上記増減理由(30%以上の増減の場合記入)			資料調査の多くが実施済のため、事業費の減額となった。						
業績指標	事業目的達成のための成果指標 (アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標		
		計画策定の進捗状況		30/100	50/100	95/100	100/100	100		
		指標で表せない成果・効果	町民の理解度の検証が容易ではない。							
	活動実績 (アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標		
		策定委員会の開催		0/1	1/1	3/3	0/0	4		
		単位あたりコスト…③/実績								
		悉皆調査の実施		5/5	3/3	1/1	0/0	2		
		単位あたりコスト…③/実績								
	講演会等の実施		4/4	4/4	1/1	1/1	7			
	単位あたりコスト…③/実績									

注)「概算人件費」欄は、便宜上、人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

項 目		評価	評価に対する説明	
一次評価（担当課による自己評価）	必要性	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	△	文化財保護法の改正に伴う地域計画の策定に不可欠は事業。
		民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	△	専門性の高い分野が多いため、困難。
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	少子高齢化社会の文化財行政の指針として重要な計画。
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	策定事務局の人員が不足しており、厳しい状態であるが、効果的な支出に努めた。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	最底辺の体制で取り組んでいる。
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	最底辺の体制で取り組んでいる。
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	事務局の人員不足の中で、進めた。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	最底辺の体制で取り組んでいる。
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	他自治体の計画を参照している。
目的及び指標等の達成状況に対する評価	事務局体制が不備で厳しい状態ですが、完成に向けて進めています。			
今後の課題及び方向性【担当課長記入】	具体的な構想書の文字化作業が急務であると考えます。			
庁内及び外部による評価	二次評価（庁内）【行革担当課記入】	所 見		
	二次評価（外部）【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
	予算への反映【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	
		予算額の反映状況	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

令和2年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事務事業名		図書館運営事業 (コード) 1005060201			担当課	社会教育課	作成責任者	瀬戸 真由美		
歳出費目		款	教育費	項	社会教育費	目	図書館費	事業	図書館管理運営事業	
事業属性	総計	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名				
		施策名	(施策3)生涯学習社会の実現と人権教育の推進			施策名				
		開始年度	平成17(2005)	終了予定年度		関連計画等				
		根拠法令等	図書館法、与謝野町立図書館条例							
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府制度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )						類型	施設管理型	
基礎情報	事業目的 (目指す姿。何をどんな状態にしたいのか。)	図書、記録、その他必要な資料を収集、整理及び保存して、町民の利用に供し、教養、調査研究及びレクリエーション等に資するものです。								
	対象	与謝野町町民			対象数	21,219 (単位)	人	単位当りコスト	1.154	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 ( ) (委託先・実施主体等)								
	事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	図書館の管理運営(1館2分室) 蔵書の拡充								
	取組実績と経費内訳 (R1実績)	R1取組実績				経費科目(節・細節)			R1決算(千円)	
		図書館運営費				報酬	図書館協議会	18		
						旅費		10		
						需用費	雑誌・新聞購読料	471		
						需用費	その他消耗品、燃料費	168		
					役務費	電話料	48			
				委託料	システム保守、データ作成	714				
				使賃	システム使用料、PC使賃他	2,673				
				備品購入料	図書購入	3,133				
				負担金		5				
執行の状況	区分		H30	H30繰越	R1	R2	R3	R4		
	事業費…①	財源内訳	一般財源	21,792	0	7,240	7,450	7,450	7,450	
			国支出金	21,792	0	7,240				
			府支出金							
			地方債							
			その他特財							
		特定財源名称								
	職員人件費	従事職員数(正職/正職以外)	/	0.71/5.79	0.71/5.79	0.71/5.79	0.71/5.79			
		概算人件費…②		17,253	17,253	17,253	17,253			
	総事業費(①+②)…③		21,792	24,493	24,703	24,703	24,703			
	総事業費(R2~R4)			74,109						
事業費のうごき	事業費…①の前年度増減率			-67%	3%	0%	0%			
	上記増減理由(30%以上の増減の場合記入)			H30総事業費には臨時・雇託職員賃金分14,103千円分が含まれているため。差し引いた額7,684千円だと-6%になります。						
業績指標	事業目的達成のための成果指標 (アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標		
		町民人口に対する図書貸出個人実数の割合	%	10.7/10	10.2/10	/10	/10	10(H38)		
		指標で表せない成果・効果								
	活動実績 (アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標		
		適正配置・適正管理館数	箇所	3/3	3/3	/3	/3	3(H38)		
		単位あたりコスト…③/実績		/	/	/	/			
		単位あたりコスト…③/実績		/	/	/	/			
単位あたりコスト…③/実績		/	/	/	/					
単位あたりコスト…③/実績		/	/	/	/					

注)「概算人件費」欄は、便宜上、人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

項目		評価	評価に対する説明	
一次評価（担当課による自己評価）	必要性	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	
		民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	○	年齢に関係なく多くの利用者がある。 入館料の徴収が禁じられている公共図書館は業務委託にはなじまないと考える。 図書館は町民の文化的な暮らしに欠かすことの出来ない施設。
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	利用者のニーズ(期待)に応えるためには、一定の運営費・資料購入費が必要である。 本館・分室それぞれで要望が多いため重複する資料もあり、資料の有効活用にはまだ検討の余地がある。
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	目標はこれまでの実績に基づいて設定し、例年利用状況は統計処理している。 3館運営により利用者の利便性は確保されているが、今後の設備の老朽化・スペース的な課題がある。 近隣図書館との連携や情報交換は常に行っている。
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	<p>業績については、貸出実績は昨年と比較し減少しましたが、目標値は保っている状態です。 平成30年度からの北部都市圏連携による広域貸出により、与謝野町以外の方にも利用されている一方、昨年度に引き続き本館では実績減が続いている状態にあり、蔵書が豊富で利便性の高い宮津市立図書館に利用が流れている影響は続いていると思われます。</p> <p>2分室は、それぞれ旧町単位に設置され地理的に利便性があり、きめ細やかなサービスで一定の利用もありますが、一方で設備の老朽化やスペース不足、少人数(原則1名)での運営といった課題があります。</p>			
今後の課題及び方向性【担当課長記入】	<p>図書館は、図書貸出以外に館内での閲覧や学習、また憩いの場として年齢を問わず住民に利用される施設として、今後も維持していく必要があります。 中央公民館老朽化に伴う野田川分室の移転も含まれる社会教育施設統廃合に関しては第三者委員会の設置、開催が計画されていますので、その動向を注視しつつ事業を進めます。</p>			
庁内及び外部による評価	二次評価（庁内）【行革担当課記入】	所見		
	二次評価（外部）【行革担当課記入】	所見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内容	
	予算への反映【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	
		予算額の反映状況	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

令和2年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事務事業名		読書活動推進事業 (コード) 1005060202			担当課	社会教育課	作成責任者	瀬戸 真由美		
歳出費目		款 教育費	項 社会教育費	目 図書館費	事業	図書館管理運営事業				
事業属性	総計	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち		分野名					
		施策名	(施策3)生涯学習社会の実現と人権教育の推進		施策名					
		開始年度	平成17(2005)	終了予定年度						
		根拠法令等	図書館法、与謝野町立図書館条例		関連計画等					
事業区分		<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府制度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )				類型	施設管理型			
事業目的 (目指す姿。何をどんな状態にしたいのか。)		子どもの読書活動の推進に関する法律には、地方公共団体の責務として、「その地域の実情を踏まえ、子どもの読書活動の推進に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。」とされており、その実現に向けて取り組む必要があります。また、子どもだけでなく、広く一般町民に対しても、読書に親しむ契機を提供することは重要です。								
対 象		与謝野町町民		対象数	21,219 (単位)	人	単当たりコスト	0.092		
実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 ( ) (委託先・実施主体等) 読み聞かせボランティアグループ、与謝野町教育委員会								
事業概要 (やり方、手順、手段、手法)		本の貸出や閲覧のほかに、読書意欲を喚起するようなイベントを開催する おはなし会等、絵本ライブ、読書マラソン、読書手帳								
基礎情報	取組実績と経費内訳 (R1実績)		R1取組実績			経費科目(節・細節)		R1決算(千円)		
			おはなし会の開催、読書マラソンの実施、読書手帳配布			報償費 講師謝金、謝礼	34			
						需用費 消耗品費	29			
			子どもゆめ基金助成金活用による絵本作家講演会開催(実行委員会) ※新型コロナ感染防止のため開催中止、準備費用のみ計上			補助金	14			
執行の状況	区 分		H30	H30繰越	R1	R2	R3	R4		
	事業費…①		249	0	77	252	252	252		
	財源内訳	一般財源	249	0	77					
		国支出金								
		府支出金								
		地方債								
		その他特財								
	特定財源名称									
	職員人件費		従事職員数(正職/正職以外)		0.25/0	0.25/0	0.25/0	0.25/0		
			概算人件費…②		1,871	1,871	1,871	1,871		
総事業費(①+②)…③		249		1,948	2,123	2,123	2,123			
				総事業費(R2~R4)		6,369				
事業費のうごき	事業費…①の前年度増減率				-69%	227%	0%	0%		
	上記増減理由(30%以上の増減の場合記入)				新型コロナ感染拡大防止によるイベント中止により補助金額が減ったため。					
業績指標	事業目的達成のための成果指標(アウトカム)実績/当初目標		指 標	単 位	H30	R1	R2	R3	最終目標	
			読書活動への参加率	%	3.3/5	1.3/5	/5	/5	5(H38)	
					/	/	/	/		
	指標で表せない成果・効果		読書や図書に関する取り組みを通して、町民・子どもの読書意欲や知的好奇心の向上、生涯学習を通して心の豊かさを育むことをめざしている。							
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指 標		単 位	H30	R1	R2	R3	最終目標	
		お話し会等読書イベントの実施		回	34/30	33/32	/32	/32	32(H38)	
単位あたりコスト…③/実績			/	/	/	/				
単位あたりコスト…③/実績			/	/	/	/				

注)「概算人件費」欄は、便宜上、人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

項 目		評価	評価に対する説明	
一次評価（担当課による自己評価）	必要性	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	
		民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	△	図書の貸出だけではないお話しなどのイベントは、読書活動の推進のためには必要不可欠。 町内のボランティアが自主的に活動するものを、図書館がサポートに回る形も考えられる。
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	お話し会の講師は、町内読書ボランティアを活用しコストを抑えて実施できていると思われる。 絵本作家講演会についてもゆめ基金助成金を活用している。
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	お話し会は子どもの実数減少により参加数増加は見込めないと思われる。 イベントについては現状数を継続させたいが、子どもの興味・関心が引けるよう内容や対象などに工夫が必要。 他のアプローチについて他市町先進地の研究は行っている。
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	業績については、実施回数は目標どおりでしたが、参加率は下回りました。 おはなし会参加者の減少、特に月例実施の参加数が低調であったことから、年度途中から参加者へのスタンプラリーなど参加意欲を高めるための工夫も始めましたが、2月以降は新型コロナウイルスの影響を受け、3月は全館で開催を断念したため参加者増には繋がられませんでした。			
今後の課題及び方向性【担当課長記入】	図書館が、本を貸し出すだけの場所ではなく、生涯学習の場として機能するためにも、読書に関するイベントは継続して行うことが大切です。 一方で、魅力的なイベントにするための、創意工夫を行うための検討が必要と思われます。 また、読書ボランティアとの連携を密にし、与謝野町読み語り推進活動実行委員会での取り組みなども助成金の活用などで出来る限りコスト削減を図る必要があると考えます。			
庁内及び外部による評価	二次評価（庁内）【行革担当課記入】	所 見		
	二次評価（外部）【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
	予算への反映【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	
		予算額の反映状況	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	



令和2年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事務事業名	農村文化保存伝習センター維持管理事業 (コード)			担当課	社会教育課	作成責任者	加藤晴彦		
	歳出費目	款 教育費	項 社会教育費	目 教育文化施設管理費	事業	農村文化保存伝習センター管理運営事業	R1新規	-		
	総計	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名				
		施策名	(施策5)文化財の継承と発展			施策名				
	開始年度	平成29(2017)	終了予定年度	***		関連計画等	与謝野町文化財保存活用基本計画			
	根拠法令等	与謝野町立農村文化保存伝習センター条例								
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府制度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )						類型	内部管理型		
基礎情報	事業目的 (目指す姿、何をどんな状態にしたいのか。)	国民共有の財産である文化財を将来に守り伝えるために、文化財取蔵庫として安定的な状態を構築し、並びに資料整理室として活用するものです。なお、条例上では、「(設置)第1条 与謝野町の農村文化の保存及び伝習並びに地域住民の研修、会合等の用に供するため、農村文化保存伝習センターを設置する。」となっているが、地域住民の研修などを目的とした部屋の一般貸出は行っていない。								
	対象	与謝野町町民	対象数	21,225 (単位)	人	単位当たりコスト	0.006			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 ( ) (委託先・実施主体等)								
	事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	資料(主に出土品、古文書、民具)を保管して安定的な環境を構築するべく管理し、かつ整理作業を行うものです。								
	取組実績と経費内訳 (R1実績)	R1取組実績				経費科目(節・細節)		R1決算(千円)		
		資料箱の防虫剤の交換				委託料>害虫駆除業務		62		
発掘調査出土品の整理作業				(遺跡調査費)						
桑飼学童保育への貸出				(民生費)						
執行の状況	区 分			H30	H30繰越	R1	R2	R3	R4	
	事業費…①	財源内訳	一般財源	440	0	131	131	440	131	
			国支出金							
			府支出金							
			地方債							
			その他特財							
			特定財源名称							
	職員人件費	従事職員数(正職/正職以外)	/	/	/	/	/	/		
		概算人件費…②								
	総事業費(①+②)…③		440		131	131	440	131		
			総事業費(R2~R4)						702	
事業費のうごき	事業費…①の前年度増減率				-70%	0%	236%	-70%		
	上記増減理由(30%以上の増減の場合記入)									
業績指標	事業目的達成のための成果指標 (アウトカム)実績/当初目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標		
		保管環境の構築・維持	件	1/1	1/1	1/1	1/1	1		
		指標で表せない成果・効果	文化財資料の保存施設として利用しており、変化のないことが価値であるため、指標化は難しい。							
	活動実績 (アウトプット)実績/当初見込	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標		
		防虫剤の交換業務の委託	回	1/1	1/1	1/1	1/1	1		
		単位あたりコスト…③/実績		/	/	/	/			
		単位あたりコスト…③/実績		/	/	/	/			
単位あたりコスト…③/実績		/	/	/	/					

注)「概算人件費」欄は、便宜上、人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

項 目		評価	評価に対する説明	
一次評価（担当課による自己評価）	必要性	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	△	保存のための収蔵施設であり、一般住民が触れる機会はほぼなく、資料の性質上、その必要性も少ない。
		民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	－	性質上、困難である。
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	△	資料の収集も文化財業務である。
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	－	-----
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	機械空調のない施設であるため、現状が必要最小限の経費である。
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	機械空調がないという環境は、古文書類には適切な環境とはいえないが、最低限の予算で管理している。
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	目立った毀損はなく保管されている。ただし、紙資料などの有機質の資料には環境改善が必要である。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	－	-----
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	最底辺のボーダーライン的な保管環境であることが再認識される。
目的及び指標等の達成状況に対する評価	数年前から古文書の燻蒸を3年毎に実施しており、古文書類の保存環境はある程度は改善された。空調施設のあることが望ましい。令和2年度から旧与謝保育園舎を収蔵庫として利用できるようになり、収容量の超過が当面解決された。			
今後の課題及び方向性【担当課長記入】	地域の歴史・個性を物語る文化財資料の収集と保存のために不可欠な施設であり、今度も適切な改善が必要であると考えます。			
庁内及び外部による評価	二次評価（庁内）【行革担当課記入】	所 見		
	二次評価（外部）【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
	予算への反映【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	

令和2年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事務事業名	三河内郷土資料室維持管理事業 (コード) 10050702		担当課	社会教育課	作成責任者	加藤晴彦		
	歳出費目	款 教育費	項 社会教育費	目 教育文化施設管理費	事業 三河内郷土資料室管理運営事業	R1新規	-		
	総計	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち		分野名				
		施策名	(施策5)文化財の継承と発展		施策名				
	開始年度	平成29(2017)	終了予定年度	令和8(2026)	関連計画等	与謝野町文化財保存活用基本計画			
	根拠法令等	与謝野町立三河内郷土資料室条例							
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府制度事業 <input type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )					類型	施設管理型		
基礎情報	事業目的 (目指す姿。何をどんな状態にしたいのか。)	国民共有の財産である文化財の内、民俗文化財(生活道具)を守り伝え、かつ民俗文化財(生活道具)を通じて、町民(更には町外)に本町の地域の昔の暮らしについて、普及啓発、宣伝を行える状態を構築するものです。							
	対象	来館者数	対象数	21,219 (単位)	人	単当たりコスト	0.056		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 ( ) (委託先・実施主体等) 受付業務員は、宮津与謝シルバー人材センターからの派遣委託							
	事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	暮らしの生活文化を示す資料(主に民具)を展示、解説することで、地域の生活文化を知り、今の暮らしと比較されることで、今の暮らしへの理解を深めるものです。							
	取組実績と経費内訳 (R1実績)	R1取組実績			経費科目(節・細節)		R1決算(千円)		
		開室業務(受付棟)と手織織りの技術指導			教育文化施設受付等業務委託料		757		
展示説明(小学校授業利用のみ)			(事務局と地元有志で対応)		0				
執行の状況	区分		H30	H30繰越	R1	R2	R3	R4	
	事業費…①	財源内訳	一般財源	811	0	805	805	805	805
			国支出金						
			府支出金						
			地方債						
			その他特財				歳入費目(項)		
		特定財源名称							
	職員人件費	従事職員数(正職/正職以外)	/	0.05/0	0.05/0	0.05/0	0.05/0		
		概算人件費…②		374	374	374	374		
	総事業費(①+②)…③		811	1,179	1,179	1,179	1,179		
	総事業費(R2~R4)			3,537					
事業費のうき	事業費…①の前年度増減率			-1%	0%	0%	0%		
	上記増減理由(30%以上の増減の場合記入)								
業績指標	事業目的達成のための成果指標(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標	
		入室者数	人	435/400	207/360	200/360	200/360	360	
	指標で表せない成果・効果	郷土愛の醸成への寄与の数値化は難しい。							
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標	
		開室日数	日	109/109	107/103	103/103	103/103	103	
		入室者数	人	435/400	207/360	200/360	200/360	360	
単位あたりコスト…③/実績			/	/	/	/			

注)「概算人件費」欄は、便宜上、人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

項目		評価	評価に対する説明
一次評価(担当課による自己評価)	必要性		
	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	△	与謝野町・地域の生活文化を伝える手法として資料室を開設し、展示・解説を行っている。
	民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	△	対象が一般の生活文化であるので、民間事業者でも実施可能な部分は多い。
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	△	手法及び実施主体者(町)としては一般的なものであり、変更の必要性の可否については検討の余地はあるが、現状では過不足ないと判断している。
	効率性		
	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	開室は土日を基本としており、平日は学校等の依頼があった場合は開室している。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	—	比較する適切な対象が把握が困難。
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	開室日数を限土・日曜日の限定している現状の経費が削減の下限と判断している。
	有効性		
成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	入室者の主体は三河内区の幼児・小学生であり、少子化のため、年々減少傾向にある。	
活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	同上	
先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	生活文化資料室としては、ごく一般的な施設である。	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	従来からの利用者の内訳は、小学校の授業と三河内地区の児童が主体です。利用者の減少傾向と少子化が正比例していると想定しています。そのため、入室者1人当たりの経費単価が上昇していますが、現況では概ね可との判断をしています。		
今後の課題及び方向性【担当課長記入】	従来からの利用者の内訳を変化させるには、特に、町外者の利用を促進する必要があると考えています。このためには展示のコンセプト、内容の追加や刷新の検討が必要ではないかと考えています。		
庁内及び外部による評価	二次評価(庁内)【行革担当課記入】	<input type="checkbox"/> 次年度廃止/休止 <input type="checkbox"/> 5年以内に廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<b>所見</b> ○担当課でも課題の分析がされており、担当課で検討された案(小学校の空き教室等に展示物を移管して学校授業のみの対応として、祭りをメインにした会館にリニューアルする)で検討を進める。地域で守っていく施設として位置付ける。 ○一旦閉館して今後の検討をするということもひとつの方法。 ○施設は閉館しても展示品の有効活用(子供たちの学びのための活用)を考えるなら、他事業で活かすという意味でBという評価。
	二次評価(外部)【行革担当課記入】	<input type="checkbox"/> 次年度廃止/休止 <input type="checkbox"/> 5年以内に廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<b>所見</b>
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<b>方針区分</b> <input type="checkbox"/> 次年度廃止/休止 <input type="checkbox"/> 5年以内に廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<b>内容</b>
	予算への反映【財政担当課記入】	予算額の反映状況 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

令和2年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事務事業名	古墳公園維持管理事業 (コード) 10050703		担当課	社会教育課	作成責任者	加藤晴彦		
	歳出費目	款 教育費	項 社会教育費	目 教育文化施設管理費	事業 古墳公園管理運営管理運営事業	R1新規	-		
	総計	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名			
		施策名	(施策5)文化財の継承と発展			施策名			
	開始年度	平成29(2017)	終了予定年度	令和8(2026)		関連計画等	与謝野町文化財保存活用基本計画		
	根拠法令等	与謝野町立古墳公園条例							
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府制度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )					類型	施設管理型		
基礎情報	事業目的 (目指す姿。何をどんな状態にしたいのか。)	○国民共有の財産である文化財の内、整備された国史跡蛭子山古墳、作山古墳を守り伝え、かつ、これらを通じて、町民、更には町外に対して、本町の地域の固有の歴史について、普及啓発、宣伝を行える状態を構築するものです。 ○学校授業での利用による地域史の理解を促すことはもとより、町外に対して地域の歴史的魅力を発信することができる歴史資源です。							
	対象	与謝野町町民	対象数	21,219 (単位)	人	単位当りコスト	0.442		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 ( ) (委託先・実施主体等) 古代から未来へつなぐ会合同会社							
	事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	整備された国史跡蛭子山古墳、作山古墳の見学環境を整え、当地域の固有の古代史情報を周知啓発するものです。また、合わせて、資料館の展示解説をすることで見学者への理解を促します。							
	取組実績と経費内訳 (R1実績)	R1取組実績			経費科目(節・細節)		R1決算(千円)		
		古墳公園の運営維持管理 人件費6,941千円(受付3,297、アルバイト料2,194、草刈り1,240、賞与210) 電気代780千円			委託料>指定管理料		8,445		
		火災保険料(はにわ資料館、受付棟、いろりの館)			役務費>火災保険料		70		
		樹木の伐採(蛭子山古墳の北側、近隣住宅対応)			委託料		495		
	執行の状況	区分			H30	H30繰越	R1	R2	R3
事業費…①		財源内訳	一般財源	8,603	0	9,010	8,600	8,600	8,600
			国支出金						
			府支出金						
			地方債						
			その他特財						
		特定財源 名称							
職員人件費		従事職員数(正職/正職以外)	/	0.05/0	0.05/0	0.05/0	0.05/0	0.05/0	
		概算人件費…②		374	374	374	374	374	
総事業費(①+②)…③			8,603	9,384	8,974	8,974	8,974	8,974	
	総事業費(R2~R4)			26,922					
事業費の うごき	事業費…①の前年度増減率				5%	-5%	0%	0%	
	上記増減理由(30%以上の増減の場合記入)								
業績指標	事業目的達成のための成果指標 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標	
		来場者数	人	3,023/5,000	3,219/5,000	3,500/5,000	3,900/5,000	5000	
	指標で表せない 成果・効果	来園者の満足度の数値化は容易ではない。							
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標	
		勾玉作りほか体験の実施	件	446/400	418/400	400/400	400/400	400	
		単位あたりコスト…③/実績			22.5				
		開園日数	日	297/290	276/270	270/270	270/270	270	
		単位あたりコスト…③/実績			34.0				
			/	/	/	/			
	単位あたりコスト…③/実績								

注)「概算人件費」欄は、便宜上、人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

項目		評価	評価に対する説明
一次評価（担当課による自己評価）	必要性		
	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	△	地域文化の個性を表現する時代において、地域の個性形成の元となる歴史遺産（記憶）を活用して、町内外に地域をアピールする目的に合致している。
	民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	△	指定管理者制度で運営しているが、指定管理者の専門性の練度には課題がある。専門的ではない部分での活用も期待している。
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	△	与謝野町・地域の古代史の魅力を伝える手法として古墳を整備し、資料室を併設して展示・解説を行うオーソドックスなスタイルである。
	効率性		
	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	過去の経費実績と照合しており、妥当と判断している。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	30年来事業をしている中で、常に問題意識をもって取り組んでいる。
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	特に電気代には気を使っている。気を使わずに展示品への影響が心配されるくらい。
	有効性		
成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	有料公園であり、測定はされている。ただ、今の運営体制で善いか否かは検討課題である。	
活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	学校授業での利用は、町内学校をはじめ近隣の町外学校からも利用がある。また、現丹後王国論の拠点の一つとして全国の古代史ファンが訪れる与謝野町・地域の町外向けの資源の一つである。	
先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	指定管理者自身の問題であるが、当方からは類似物件を紹介することがある。	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	入園者5,000人を達成できていないのが現状で、年々減少傾向にあります。概ね3,000人で底を打ったと感じています。京都縦貫道の開通は、加悦谷バイパス南半部沿いの入り込み客数に影響を与えている可能性が想起されます。		
今後の課題及び方向性【担当課長記入】	丹後以外からの入り込み客数を誘導するための宣伝等の取組が不可欠と思われます。また、前提として資料館の展示構成の再整備も急務であると考えます。さらに、新しい古代史情報を発信する事業の取組も平行実施する必要があると考えます。		
庁内及び外部による評価	所見		
	二次評価（庁内）【行革担当課記入】	<input type="checkbox"/> 次年度廃止/休止 <input type="checkbox"/> 5年以内に廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<input type="checkbox"/> 公園の在り方そのもの（無料化や公園化を進めることなど）を見直して利用しやすい施設にする（人件費の抑制などの効果にも繋がる）。 <input type="checkbox"/> 利用者へのアンケートを実施し、利用者の傾向を把握すること。 <input type="checkbox"/> 文化施設なので必ずしも費用対効果を求めないが、指定管理者には引き続き営業努力や専門性のスキルアップを進めてほしい。（ボランティアガイドなどの体制作りも有効）。 <input type="checkbox"/> まずはあり方を見直すということで、現状はDという評価。
二次評価（外部）【行革担当課記入】	<input type="checkbox"/> 次年度廃止/休止 <input type="checkbox"/> 5年以内に廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	所見	
来年度方針	方針区分		内容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 次年度廃止/休止 <input type="checkbox"/> 5年以内に廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
予算への反映【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 廃止/休止	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

令和2年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事務事業名		椿文化資料館維持管理事業 (コード) 1005070401			担当課	社会教育課		作成責任者	竹下浩二		
歳出費目		款	教育費	項	社会教育費	目	教育文化施設管理費	事業	椿文化資料館管理運営事業	R1新規	
事業属性	総計	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち				分野名				
		施策名	(施策5)文化財の継承と発展				施策名				
		開始年度	平成17年(2005)	終了予定年度	令和8年度(2026)		関連計画等				
		根拠法令等	文化財保護法、京都府文化財保護条例、与謝野町文化財保護条例、与謝野町文化財保護条例施行規則、加悦椿文化資料館条例、加悦椿文化資料館条例施行規則				関連計画等				
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府制度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )						類型	施設管理型		
基礎情報	事業目的 (目指す姿。何をどんな状態にしたいのか。)	京都府指定文化財「滝のツバキ」のガイダンス施設として、収蔵する椿に関する美術工芸資料を展示活用しながら管理運営し、町の木でもある椿の魅力を発信すると共に地域活性化に貢献するものです。									
	対象	来館者	対象数	900	(単位)	人	単当たりコスト	4,843			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 ( ) (委託先・実施主体等) 有限会社 明人夢村									
	事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	・企画展の開催 ・入館料の徴収と物品販売 ・周辺地域イベントへの参加 ・「滝のツバキ」に関する情報発信 ・来館者待遇と体験活動の実施									
	取組実績と経費内訳 (R1実績)	R1取組実績							経費科目(節・細節)	R1決算(千円)	
		施設の開館閉館、入館料の徴収と物販、「滝のツバキ」に関する情報発信、来館者待遇(指定管理者)							委託料-指定管理料	2,456	
建物共済火災保険							役員費-火災保険料	32			
執行の状況	区分			H30	H30繰越	R1	R2	R3	R4		
	事業費…①	財源内訳	一般財源	2,488	0	2,488					
			国支出金								
			府支出金								
			地方債								
			その他特財								
		特定財源名称									
	職員人件費	従事職員数(正職/正職以外)			0.2/0		0.2/0	0.2/0	0.2/0	0.2/0	
		概算人件費…②			1,871		1,871	1,871	1,871		
	総事業費(①+②)…③		2,488		4,359		4,199	4,199	4,199		
			総事業費(R2~R4)			12,597					
事業費のうき	事業費…①の前年度増減率			0%		-6%	0%	0%			
	上記増減理由(30%以上の増減の場合記入)										
業績指標	事業目的達成のための成果指標 (アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標			
		入館者数	人	/	900/1200	/1200	/1200	1500			
	指標で表せない成果・効果	椿油絞り体験が好評で、来館者の滞在時間が伸びる傾向にある。来館者満足度の増と見ている。また開花期にはリピーターも多い。									
	活動実績 (アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標			
		「滝のツバキ」開花状況の情報発信	回	/	9.0/12.0	/12.0	/12.0	20			
		椿油絞り体験・挿し木体験教室の積極開催	人	/	延45/80	/80	/80	100			
単位あたりコスト…③/実績											
単位あたりコスト…③/実績											

注)「概算人件費」欄は、便宜上、人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

項目		評価	評価に対する説明
一次評価（担当課による自己評価）	必要性		
	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	△	「滝のツバキ」開花時に多くの方が木だけでなく立ち寄るが、町民のリピーター利用は多くない。また性質上開花期以外の来館者が大きく減少する。
	民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	○	現時点で指定管理者による民間運営が大半の業務において行われている。これ以上の民間移譲は持続性に問題がある。
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	「滝のツバキ」直近の施設として観覧目的の来訪者への案内やくつろぎの場となるとともに、近年は開花状況について積極的に情報発信を行っている。
	効率性		
	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	元より収益の期待できる施設ではない。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	×	検討していない
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	開花期以外の適当たり閉館日を減らして受付係員人件費の削減を行っている。R2年度は休館日をさらに増やす予定で指定管理料を削減。
	有効性		
成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	数値目標の設定と到達のための工夫→未達の場合の問題点の洗い出し→改善提案 といったサイクルが作れていない。	
活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	収蔵資料の展示のみならず「滝のツバキ」ガイド施設として開花情報等の発信や油絞りに挿し木体験などで椿により親しむための活動を積極的に行っている。	
先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	係員は積極的に他施設への自主研修を行っているが、成果の組織的反映は不十分。	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	指定管理者により概ね適切に業務が行われました。開館後20年を超過し各部に老朽化も見られますが修繕なども早めに適切に行っていただいています。利用促進業務にも着手されていますが、館の外への展開をお願いしたいです。施設はきれいに保たれ、維持管理業務は適正に行われました。来館者には積極的に声掛けを行い親しみのある会話につとめ、生の声を現場で収集されています。収集結果の共有について指示しました。		
今後の課題及び方向性【担当課長記入】	公共施設マネジメントの中で将来的に集約化される施設であり、その時期や方法について検討する必要があります。		
庁内及び外部による評価	二次評価（庁内）【行革担当課記入】	<b>所見</b> <input type="checkbox"/> 次年度廃止/休止 <input type="checkbox"/> 5年以内に廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<input type="checkbox"/> 文化施設の集約を視野に入れて椿文化資料館維持管理事業と江山文庫維持管理事業と一緒に評価する。 <input type="checkbox"/> 老朽化が進む中で、入館者も減少している。 <input type="checkbox"/> これらの施設がどのように認識されているかの意識調査が必要となる。 <input type="checkbox"/> 文化施設が点在しているので、これらを繋げる工夫が必要。周遊券の見直しなども検討しては。 <input type="checkbox"/> これらの施設の集約やちりめん街道へのサテライト的な移管等を検討。施設の老朽化や設備の課題もあり、早期に方向性を見出す必要がある。 <input type="checkbox"/> 与謝野町として新たな魅力の発信だけでなく、古くから引き継ぐ文化の振興をどのように位置づけているかが課題。 <input type="checkbox"/> 意識調査などにより方向性を決める段階ということでDという評価。
	二次評価（外部）【行革担当課記入】	<b>所見</b> <input type="checkbox"/> 次年度廃止/休止 <input type="checkbox"/> 5年以内に廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
来年度方針	方針区分	内 容	
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 次年度廃止/休止 <input type="checkbox"/> 5年以内に廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算への反映【財政担当課記入】	予算額の反映状況 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】



令和2年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事務事業名	江山文庫維持管理事業 (コード) 1005070501		担当課	社会教育課	作成責任者	竹下浩二			
	歳出費目	款 教育費	項 社会教育費	目 教育文化施設管理費	事業	江山文庫管理運営事業	R1新規			
	総計	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち		分野名					
		施策名	(施策5)文化財の継承と発展		施策名					
	開始年度	平成17年(2005)	終了予定年度	令和8年度(2026)		関連計画等				
	根拠法令等	文化財保護法、京都府文化財保護条例、与謝野町文化財保護条例、与謝野町文化財保護条例施行規則、与謝野町立江山文庫条例、与謝野町立江山文庫条例施行規則								
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府制度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )							類型		
基礎情報	事業目的 (目指す姿。何をどんな状態にしたいのか。)	通年で入替えを行う企画展示や文化講座等、また町内小中高生俳句教室や蕪村顕彰全国俳句大会を通じて、当町の特色ある文化としての俳句・短歌や、与謝蕪村、与謝野鉄幹・晶子といった地域ゆかりの文人たちについて理解を深める。								
	対象	来館者	対象数	1,272 (単位)	人	単当たりコスト	5.798			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 ( ) (委託先・実施主体等)								
	事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	・企画展の開催 / ・短形詩文学及び地域の文学・美術に関する調査研究と保存 ・入館料等の徴収 / ・文化講座や小中高生俳句教室の開催 ・蕪村顕彰全国俳句大会実行委員会に関する業務								
	取組実績と経費内訳 (R1実績)	R1取組実績			経費科目(節・細節)		R1決算(千円)			
		施設の開館閉館と係員不在時の警備/企画展の開催/文化講座の開催			需用費			1,218		
					役務費			391		
					委託料			864		
		町内小中高生俳句教室の実施			報償費—講師等謝礼			181		
	蕪村顕彰全国俳句大会の開催(実行委員会へ補助金)			負補交—補助金			68			
執行の状況	区分			H30	H30繰越	R1	R2	R3	R4	
	事業費…①	財源内訳	一般財源	2,808	0	2,883		3,423	2,931	3,067
			国支出金							
			府支出金							
			地方債							
			その他特財							
		特定財源名称	江山文庫入館料			114	351			
	職員人件費	従事職員数(正職/正職以外)	/		0.6/1	0.6/1	0.6/1	0.6/1	0.6/1	
		概算人件費…②			4,492	4,492	4,492	4,492	4,492	
	総事業費(①+②)…③		2,808		7,375	7,915	7,423	7,559		
					総事業費(R2~R4)		22,897			
事業費のうごき	事業費…①の前年度増減率				3%	19%	-14%	5%		
	上記増減理由(30%以上の増減の場合記入)									
業績指標	事業目的達成のための成果指標 (アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標		
		入館者数	人	/	1272/2000	/2000	/2000	2500		
		俳句大会事前投句者数	人	/	812/1500	/1500	/1500	2000		
	指標で表せない成果・効果	読書会、句会体験などの文化講座は繰り返し来ていただく方が多く、町内リピーター需要の底上げをしている。								
	活動実績 (アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標		
		文化講座の実施回数	回	/	22/25	/25	/25	30		
		単位あたりコスト…③/実績								
		蕪村顕彰全国俳句大会事前投句の町民参加者数	人	/	65/100	/100	/100	150		
		単位あたりコスト…③/実績								
	同俳句大会の当日投句参加者数	人	/	79/150	/150	/150	200			
単位あたりコスト…③/実績										

注)「概算人件費」欄は、便宜上、人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

項 目		評価	評価に対する説明
一次評価（担当課による自己評価）	必要性		
	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	俳句の振興を掲げる当町の短詩形文学の拠点として、また丹後中丹地域唯一の文学館として、地域ゆかりの俳句・短歌や蕪村・鉄幹・晶子らについて常時発信している。
	民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	×	企画展の開催や収蔵資料の取り扱い等は民間での実施は困難 俳句大会の運営については、現在も町内の愛好家の協力を得ながら行っているが高齢者が多く、実施主体の移譲は難しい。
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	俳句・短歌の振興、地域ゆかりの俳人・歌人の顕彰に適切である
	効率性		
	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	元より収益の期待できる施設ではない。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	館の運営と俳句大会の継続が両輪であると考え、どちらも新機軸を取り入れていく必要がある
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	R2より電話・FAX回線の一本化し回線使用料コストを削減している
	有効性		
成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	文化講座参加者を中心に滞在時間が長くなっており、来館者満足度の増加とともに俳句・短歌の振興に寄与していると考え	
活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	近年、来館者数・俳句大会参加者数ともに減少傾向にある	
先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	随時他施設の事例を研究している 俳句大会では町内・近隣の俳句愛好家に協力を得て実施している	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	比較的高齢者の利用、参加が多いこともあり、施設来館者及び俳句大会事前投句者、大会当日来場者の減少が見られます。若年層を中心に新規参入層の拡大が急務ですが、小・中・高生俳句教室の成果が保護者世代にまで波及していない現状です。旧来の手法に捉われない集客手段の検討が必要です。		
今後の課題及び方向性【担当課長記入】	公共施設マネジメントの中で将来的に集約化される施設であり、他施設資料の受け入れスペースの確保や活用方法について検討していく必要があります。		
庁内及び外部による評価	所 見		
	二次評価（庁内）【行革担当課記入】	<input type="checkbox"/> 次年度廃止/休止 <input type="checkbox"/> 5年以内に廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<input type="checkbox"/> 文化施設の集約を視野に入れて樫文化資料館維持管理事業と江山文庫維持管理事業と一緒に評価する。 <input type="checkbox"/> 老朽化が進む中で、入館者も減少している。 <input type="checkbox"/> これらの施設がどのように認識されているかの意識調査が必要となる。 <input type="checkbox"/> 文化施設が点在しているので、これらを繋げる工夫が必要。周遊券の見直しなども検討しては。 <input type="checkbox"/> これらの施設の集約やちりめん街道へのサテライト的な移管等を検討。施設の老朽化や設備の課題もあり、早期に方向性を見出す必要がある。 <input type="checkbox"/> 与謝野町として新たな魅力の発信だけでなく、古くから引き継ぐ文化の振興をどのように位置づけているかが課題。 <input type="checkbox"/> 意識調査などにより方向性を決める段階ということでDという評価。
二次評価（外部）【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	方針区分		内 容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 次年度廃止/休止 <input type="checkbox"/> 5年以内に廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
予算への反映【財政担当課記入】	予算額の反映状況 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

令和2年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事務事業名		遺跡環境維持管理事業 (コード) 10050707			担当課	社会教育課	作成責任者	加藤晴彦			
歳出費目		款	教育費	項	社会教育費	目	教育文化施設管理費	事業	遺跡環境維持管理事業	R1新規	○
事業属性	総計	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名					
		施策名	(施策5)文化財の継承と発展			施策名					
		開始年度	平成29(2017)	終了予定年度	永年	関連計画等	与謝野町文化財保存活用基本計画				
		根拠法令等	与謝野町文化財保護条例								
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府制度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )					類型	施設管理型			
基礎情報	事業目的 (目指す姿。何をどんな状態にしたいのか。)	国民共有の財産である文化財の内、町が直接管理する公有地の指定史跡に関して、将来に守り伝え、かつ一般が見学できる状態を保つため、環境の維持管理を行うものです。									
	対象	与謝野町町民(及び町外民)			対象数	21,255 (単位)	人	単当たりコスト	0.042		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 ( ) (委託先・実施主体等) 温江環境守り隊、地蔵山遺跡保存会、明石環境整備作業組合、コミュニティ野田川									
	事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	地蔵山遺跡、滝岡田古墳、小森山1号墳、日吉ヶ丘遺跡に対して、適切な状態で保護すること及び一般見学者が見学し易い状態を保つために、草刈り作業などを行うことで、環境管理するものです。									
	取組実績と経費内訳 (R1実績)	R1取組実績					経費科目(節・細節)		R1決算(千円)		
		与謝野町指定文化財:滝岡田古墳の見学環境を整えるための草刈り等					滝岡田古墳環境維持管理委託料		71		
		国指定文化財:日吉ヶ丘遺跡の見学環境を整えるための草刈り等					日吉ヶ丘遺跡環境維持管理委託料		281		
		京都府指定文化財:地蔵山遺跡の見学環境を整えるための草刈り等					地蔵山遺跡環境維持管理委託料		66		
		与謝野町指定文化財:小森山1号墳の見学環境を整えるための草刈り等					小森山1号墳環境維持管理委託料		66		
	執行の状況	区分			H30	H30繰越	R1	R2	R3	R4	
事業費…①		財源内訳	一般財源	525	0	515	515	515	515	515	
			国支出金								
			府支出金								
			地方債								
			その他特財								
		特定財源 名称									
職員人件費		従事職員数(正職/正職以外)	/		0.05/0	0.05/0	0.05/0	0.05/0	0.05/0		
		概算人件費…②			374	374	374	374	374		
		総事業費(①+②)…③	525		889	889	889	889	889		
				総事業費(R2~R4)		2,667					
事業費の うごき	事業費…①の前年度増減率				-2%	0%	0%	0%			
	上記増減理由(30%以上の増減の場合記入)										
業績指標	事業目的達成のための成果指標 (アウトカム) 実績/当初目標		指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標		
			適切な見学環境の提供	箇所	4/4	4/4	4/4	4/4	4		
			指標で表せない 成果・効果	一般見学者の数値や満足度の数値化は容易ではない。							
			指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標		
			4遺跡の各々で年間3回ないし4回の草刈り等	回	13/13	13/13	13/13	13/13	13		
			活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	単位あたりコスト…③/実績		68.4					
			単位あたりコスト…③/実績	/	/	/	/				
			単位あたりコスト…③/実績	/	/	/	/				

注)「概算人件費」欄は、便宜上、人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

項 目		評価	評価に対する説明	
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	歴史資料「古墳」の環境整備事業であり、地域の歴史資源として町民の利用はもとより、町外に対して、与謝野町や地域を宣伝する効力がある事業であり、公有地の管理及び町外への宣伝物件の環境整備として必要性が認められる事業である。
		民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	○	地域の文化財は地域で守るという視点で、遺跡周辺の人たちに事業委託をすることで、日常的に目が行き届き、維持管理に有効と考え、委託先は遺跡周辺の団体に依頼している。
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	公有地の管理も含んだ事業であり、放置はできず、優先度は高いと考えている。
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	—	見学者数が把握できないため、コストの妥当性は判断できない。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	事業目的の基本は、草刈による見学環境の整備であり、大きく変更できる要素が見当たらない。
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	厳しい予算の範囲内で業務委託しており、コスト削減には配慮している。
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	学校授業での利用では説明の依頼があり回数をカウントできるが、一般見学者の数値をカウントする方法がない。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	見学者数が把握できないため、判断できないが、公有地管理という意味も含めれば必要な事業と考えている。
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	類似事例は気にかけている。
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	従来までの管理で過不足の無い目的と実績を上げています。		
	今後の課題及び方向性【担当課長記入】	一般見学者の数値化のための取組をすべきであり、その検討が必要であると考えています。		
庁内及び外部による評価	二次評価（庁内）【行革担当課記入】	所 見		
	二次評価（外部）【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
	予算への反映【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	
		予算額の反映状況	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

令和2年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事務事業名	社会教育施設維持管理事業 (コード)			担当課	社会教育課	作成責任者	井崎 洋之		
	歳出費目	款 教育費	項 社会教育委	目 教育文化施設管理費	事業	社会教育施設管理運営事業	R1新規	-		
	総計	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名				
		施策名	(施策3)生涯学習社会の実現と人権教育の推進			施策名				
		開始年度	平成18(2016)	終了予定年度		関連計画等	与謝野町公共施設等総合管理計画			
		根拠法令等								
基礎情報	事業目的 (目指す姿。何をどんな状態にしたいのか。)	本来の事業目的は各施設の活用を通じて社会教育を推進していくことにあるが、行革においては、与謝野町公共施設等総合管理計画の方針に基づき、目的、あり方の再検討を実施した上で、維持、廃止、譲渡、売却を進めていく。								
	対 象	与謝野町民	対象数	22,000 (単位)	人	単位当りコスト	0.053			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 ( ) (委託先・実施主体等) 与謝野町教育委員会 社会教育課								
	事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	◎若者センター⇒設置目的の見直しを図った上で維持継続 ◎松風庵⇒廃止(令和2年度に売却の可能性を検討) ◎三河内山の家⇒譲渡(三河内区へ) ◎いきいきふれあい広場⇒維持管理の継続・所管課の再検討要								
	取組実績と 経費内訳 (R1実績)	R1取組実績			経費科目(節・細節)			R1決算(千円)		
		若者センター				需用費・役務費・委託料 (詳細は別紙参照)	360			
		松風庵				役務費 火災保険料 (詳細は別紙)	11			
		三河内山の家				役務費 火災保険料 (詳細は別紙)	20			
		いきいきふれあい広場				需用費・役務費 委託料・使用料 (詳細は別紙)	402			
	執行の 状況	区 分			H30	H30繰越	R1	R2	R3	R4
事業費…①		財源内訳	一般財源	781	0	793	750	750	750	
			国支出金	781	0	793				
			府支出金							
			地方債							
			その他特財							
			歳入費目(項)							
		特定財源 名称								
職員人件費		従事職員数(正職/正職以外)	/	0.05/		0.05/	0.05/	0.05/		
		概算人件費…②			374	374	374	374		
総事業費(①+②)…③		781		1,167	1,124	1,124	1,124			
				総事業費(R2~R4)			3,372			
事業費の うごき	事業費…①の前年度増減率			2%	-5%	0%	0%			
	上記増減理由(30%以上の増減の場合記入)									
業績指標	事業目的達成のための成果指標 (アウトカム) 実績/当初目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標		
		施設の維持管理(若セン・いきいき)	施設	2/	2/	2/	2/	2		
		施設の廃止譲渡(松風庵・山の家)	施設	2/	0/	0/	0/	0		
	指標で表せない 成果・効果									
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標		
		単位あたりコスト…③/実績		/	/	/	/			
		単位あたりコスト…③/実績		/	/	/	/			
単位あたりコスト…③/実績			/	/	/	/				

注)「概算人件費」欄は、便宜上、人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

項目		評価	評価に対する説明
一次評価（担当課による自己評価）	必要性	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	△ ◎若者センター 貸館施設としてのニーズは低いが、今後も登山マラソンを継続実施するのであれば、必要不可欠な施設である
		民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	△ ◎若者センター・いきいきふれあい広場 可能性は0とは言いきれないが、現状は町管理が適切と思われる
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○ 町として、町有施設の適正管理の優先度は高く、必要な施設のみ維持管理していくという方向性は適切である
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△ ◎若者センター 貸館施設として見た場合のコストは妥当ではないと思われる
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	－ ◎若者センター・いきいきふれあい広場 有効な他の手段、方法が見当たらない
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△ ◎若者センター・いきいきふれあい広場 電気の廃止、樹木管理の期間短縮、最小限度の修繕など、可能な範囲でコスト削減に努めている
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△ R1は目標どおり松風庵の廃止、山の家の譲渡が実施できた
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△ ◎若者センター 貸館実績は低いが、イベント用の施設としては、現在の投入資源はやむを得ないと考える
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△ ◎若者センター 実施していないが、登山マラソンを廃止するのであれば、当施設も廃止でよいと思われる
目的及び指標等の達成状況に対する評価	<p>社会教育施設全体としては、行革の目的どおり達成できたと考えている。 若者センターは、今年度も長期休暇時の学童保育（身障児含む）、登山マラソン等で活用した。使い勝手のよい施設ではあるが、本来の設置目的とは異なる用途となっているのが現状である。 青少年山の家は、区への譲渡が完了した。松風庵も廃止が完了したので、今後はオークションによる売却を検討していきたい。 いきいきふれあい広場については、通常時は商工会、社協、学童保育、地域公民館の利用者及びスタッフの駐車場、また、加悦区夏祭りの会場、ちりめん街道イベント時の駐車場としての活用もあるほか、大規模災害発生時は、商工会の2階が宮津警察の臨時事務所となる関係で、その際には駐車場も利用することとなる。上記のような内容や頻度を考えると、今後も町による継続的な維持管理を要すると考える。</p>		
今後の課題及び方向性【担当課長記入】	<p>若者センターは、現在の「若者の交流」ではなく、登山マラソンなど「イベント時の物品倉庫及び基地的施設」として活用する施設とするなど位置付けの見直しを検討し、今後、大規模な修繕等はしないが、継続的に維持管理していくという方向で進めていきたいと考えます。 いきいきふれあい広場は、昨年の外部委員評価時において、維持管理を区に依頼してはどうか？というアイデアもいただき、当面は、行政で維持管理をするにしても、様々な可能性を検討していきたいと考えます。なお、これまで地域公民館付近に立地し、加悦庁舎ということで教育委員会が管理していますが、所管については再検討が必要ではないかと考えています。</p>		
庁内及び外部による評価	二次評価（庁内）【行革担当課記入】	所見	
	二次評価（外部）【行革担当課記入】	所見	
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<p>方針区分</p> <p>内容</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止/休止</p> <p><input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替</p> <p><input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し</p> <p><input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し</p> <p><input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し</p> <p><input type="checkbox"/> 事業の見直しなし</p>	
	予算への反映【財政担当課記入】	<p>予算額の反映状況</p> <p><input type="checkbox"/> 維持      <input type="checkbox"/> 組替</p> <p><input type="checkbox"/> 縮減      <input type="checkbox"/> 廃止/休止</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充</p>	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

令和2年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事務事業名		スポーツ推進委員活動事業 (コード) 1006010201			担当課	社会教育課		作成責任者	田中 結人		
歳出費目		款	教育費	項	保健体育費	目	保健体育総務費	事業	スポーツ推進委員活動事業	R1新規	
事業属性	総計	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名					
		施策名	(施策4)生涯スポーツ社会の実現			施策名					
		開始年度	平成17(2005)	終了予定年度	令和8(2026)	関連計画等					
		根拠法令等	スポーツ基本法、与謝野町スポーツ推進委員に関する規則								
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府制度事業 <input type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )						類型	一般型		
基礎情報	事業目的 (目指す姿。何をどんな状態にしたいのか。)	スポーツ推進委員が、住民に対してスポーツの実技指導、スポーツ教室、イベントの企画立案、運営を行い、充実した生涯スポーツ社会の実現を図ることを目的とするものです。									
	対象	スポーツ推進委員			対象数	23	(単位)	人	単当たりコスト	114.957	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 ( ) (委託先・実施主体等)									
	事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	住民の要望により、スポーツ指導を行い、年間通して主要事業であるスポーツイベントを開催し、住民の健康増進に努める。また、スポーツ推進委員考案の「与謝野ひまわり体操」の普及活動に努めます。									
	取組実績と経費内訳 (R1実績)	R1取組実績				経費科目(節・細節)			R1決算(千円)		
		スポーツ推進委員会議の開催等				報酬 スポーツ推進委員報酬			690		
		町民へのスポーツ指導の実施等				報償費 報償			520		
		スポーツ推進委員活動の支援				需用費 消耗品費			9		
		上部団体との連携による活動の推進				負補交 負担金			48		
	執行の状況	区分		H30	H30繰越	R1	R2	R3	R4		
事業費…①		財源内訳	一般財源	1,384	0	1,371					
			国支出金								
			府支出金								
			地方債								
			その他特財								
		特定財源名称									
職員人件費		従事職員数(正職/正職以外)	/		0.17/0	0.17/0	0.17/0	0.17/0	0.17/0		
		概算人件費…②			1,273	1,273	1,273	1,273			
総事業費(①+②)…③		1,384		2,644	2,693	2,693	2,693	2,693			
					総事業費(R2~R4)			8,079			
事業費のうごき	事業費…①の前年度増減率				-1%	4%	0%	0%			
	上記増減理由(30%以上の増減の場合記入)										
業績指標	事業目的達成のための成果指標 (アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標			
		スポーツ推進委員主要事業参加人数	人	323/330	370/330	/330	/330	330			
		スポーツ指導参加人数	人	949/400	1145/400	/400	/400	400			
	指標で表せない成果・効果	町民のスポーツ推進委員活動への認知度									
	活動実績 (アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標			
		スポーツ推進委員主要事業実施回数	回	4/4	4/4	4/4	4/4	4			
		単位あたりコスト…③/実績									
		スポーツ指導業務実施回数	回	16/10	20/10	/10	/10	10			
		単位あたりコスト…③/実績									
	研究大会等への参加	回	4/3	3/3	/3	/3	3				
	単位あたりコスト…③/実績										

注)「概算人件費」欄は、便宜上、人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

項 目		評価	評価に対する説明
一次評価（担当課による自己評価）	必要性		
	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	町民の充実した生涯スポーツ社会の実現のためにスポーツ推進を呼びかける指導者の設置は必要であると考えている。
	民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	○	スポーツ基本法にも記載されており、行政でなければ設置は不可能
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	充実した生涯スポーツ社会の実現のため、スポーツ推進委員活動を通じたスポーツ機会の創出は有効であると考えている。
	効率性		
	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	報酬額は町規則等により定められた額であり適正と判断
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	他委員と比較しても高額とは言えない
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	活動内容に合わせて、派遣する指導者を考慮する等、一定効率化に向けた検討を実施している。
	有効性		
成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	生涯スポーツの普及のため、多くの町民にスポーツをする機会を提供することが必要であり、実績も適切に把握している。	
活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	活動実績は順調に進捗している。	
先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	他市町との交流もあり、相互に情報を共有しながらスポーツ推進活動に反映している。	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	<p>成果指標、活動実績共に当初目標を達成することができました。特に、スポーツ指導に参加された人数は大きく目標を達成しており、多くの町民の方々にスポーツ機会を提供することができました。</p> <p>また、特色ある体力・健康推進活動を目指して「与謝野ひまわり体操」の普及に努めています。「与謝野ひまわり体操」については、主催事業やスポーツ指導の際に実施するほか、KYTでの定期放送を実施しており、町民の方々へ徐々に認知されつつあると考えています。</p>		
今後の課題及び方向性【担当課長記入】	<p>子どもから大人まで幅広い層の町民の方々に対して指導を行っており、今後とも充実した生涯スポーツ社会の実現のために活動を継続していく必要があると考えています。</p> <p>また、「与謝野ひまわり体操」の普及に向けたPR活動を積極的に展開していきたいと考えています。ただし、委員の数の減少傾向が懸念され、人材発掘が必要と感じています。</p>		
庁内及び外部による評価	二次評価（庁内）【行革担当課記入】	所 見	
	二次評価（外部）【行革担当課記入】	所 見	
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容
	予算への反映【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充
		予算額の反映状況	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】



令和2年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事務事業名	ジュニアスポーツ育成事業 (コード) 1006010301			担当課	社会教育課	作成責任者	田中 結人		
	歳出費目	款 教育費	項 保健体育費	目 保健体育総務費	事業	社会体育団体育成事業		R1新規		
	総計	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名				
		施策名	(施策4)生涯スポーツ社会の実現			施策名				
	開始年度	平成17(2005)	終了予定年度	令和8(2026)		関連計画等				
	根拠法令等	与謝野町社会教育関係補助金交付要綱								
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府制度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )						類型	一般型		
基礎情報	事業目的 (目指す姿。何をどんな状態にしたいのか。)	少年少女へスポーツ活動の場を提供し、スポーツを通して心身を鍛錬すると共に、生涯スポーツの充実を図るものです。								
	対象	ジュニアスポーツ加入児童生徒数	対象数	450	(単位)	人	単当たりコスト	2.296		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 ( ) (委託先・実施主体等) 与謝野町ジュニアスポーツ連絡協議会								
	事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	与謝野町ジュニアスポーツ連絡協議会への活動支援を行うものです。 (指導者・児童を対象とした研修会等を実施予定)								
	取組実績と経費内訳 (R1実績)	R1取組実績				経費科目(節・細節)		R1決算(千円)		
		与謝野町ジュニアスポーツ連絡協議会活動の支援				負補交 補助金		284		
	執行の状況	区 分			H30	H30繰越	R1	R2	R3	R4
事業費…①		財源内訳	一般財源	315	0	284				
			国支出金							
			府支出金							
			地方債							
			その他特財							
		特定財源 名称								
職員人件費		従事職員数(正職/正職以外)	/		0.1/0		0.1/0	0.1/0	0.1/0	
		概算人件費…②			749		749	749	749	
総事業費(①+②)…③			315		1,033		1,034	1,034	1,034	
			総事業費(R2~R4)		3,102					
事業費の うごき	事業費…①の前年度増減率					-10%	0%	0%	0%	
	上記増減理由(30%以上の増減の場合記入)									
業績指標	事業目的達成のための成果指標 (アウトカム) 実績/当初目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標		
		研修会参加人数	人	82/100	28/100	/100	/100	100		
	指標で表せない 成果・効果			/	/	/	/			
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標		
		与謝野町ジュニアスポーツ連絡協議会への補助金支出	回	1/1	1/1	/1	/1	1		
		単位あたりコスト…③/実績		/	/	/	/			
		単位あたりコスト…③/実績		/	/	/	/			
単位あたりコスト…③/実績		/	/	/	/					
単位あたりコスト…③/実績		/	/	/	/					

注)「概算人件費」欄は、便宜上、人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

項 目		評価	評価に対する説明
一次評価（担当課による自己評価）	必要性	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	○ 充実した生涯スポーツ社会の実現のために、青少年へスポーツ活動の場を提供することは必要であると考えている。
		民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	○ 青少年のスポーツ活動を支援する事業であり、行政でなければ設置は不可能。
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○ 充実した生涯スポーツ社会の実現のため、ジュニアスポーツ活動を支援することは有効であると考えている。
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○ 与謝野町社会教育関係補助金交付要綱に基づき交付しているため妥当であると考えている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	－ 補助金交付要綱に基づき交付しているため評価できるものではない。
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	－ 補助金交付要綱に基づき交付しているため評価できるものではない。
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○ 青少年へのスポーツ活動を支援するものであり、実績は適切に把握している。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○ 活動実績は見込みどおり推移している
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○ 研修会の内容等については、指導者の要望に合ったものを検討しており、外部から講師を派遣することで、新たな交流を創出している。
目的及び指標等の達成状況に対する評価	研修会参加人数が、研修内容を指導者、保護者に向けた内容に変更したため、目標に満たない実績となりましたが、ジュニアスポーツ連絡協議会加盟団体を支援することにより、青少年に多くのスポーツ活動の場を提供することができたと考えています。しかしながら、少子化によりクラブ員が減り、クラブ数が減少している状況でもあります。		
今後の課題及び方向性【担当課長記入】	充実した生涯スポーツ社会の実現のために少年、少女へのスポーツ活動の場を提供することは重要であり、今後も活動を継続する必要があると考えています。少子化が進む中で各クラブを存続させるために必要な支援をしていきたいと考えています。		
庁内及び外部による評価	二次評価（庁内）【行革担当課記入】	所 見	
	二次評価（外部）【行革担当課記入】	所 見	
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容
	予算への反映【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充
		予算額の反映状況	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

令和2年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事務事業名	社会体育団体育成事業 (コード) 1006010302		担当課	社会教育課	作成責任者	田中 結人			
	歳出費目	款 教育費	項 保健体育費	目 保健体育総務費	事業	社会体育団体育成事業		R1新規		
	総計	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名				
		施策名	(施策4)生涯スポーツ社会の実現			施策名				
	開始年度	平成17(2005)	終了予定年度	令和8(2026)		関連計画等				
	根拠法令等	与謝野町社会教育関係補助金交付要綱								
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府制度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )					類型	一般型			
基礎情報	事業目的 (目指す姿。何をどんな状態にしたいのか。)	社会体育団体への支援を行い、スポーツを通じて心身を鍛錬する団体の育成を図るものです。								
	対象	与謝野町民	対象数	21,219 (単位)	人	単当たりコスト	0.128			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 ( )								
	実施方法	(委託先・実施主体等) 与謝野町体育協会								
	事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	岩滝地域の社会体育施設の拠点施設である岩滝体育館内に与謝野町体育協会の事務所を設置し、岩滝体育施設の管理運営を行い、併せて体育協会全体の事務も担うものです。								
	取組実績と経費内訳 (R1実績)	R1取組実績			経費科目(節・細節)		R1決算(千円)			
与謝野町体育協会活動の支援			負補交 補助金		2,185					
執行の状況	区 分			H30	H30繰越	R1	R2	R3	R4	
	事業費…①			2,185		2,185	2,185	2,185	2,185	
	財源内訳	一般財源		2,185	0	2,185				
		国支出金								
		府支出金								
		地方債								
		その他特財								
	特定財源名称									
	職員人件費		従事職員数(正職/正職以外)	/	0.07/0		0.07/0	0.07/0	0.07/0	
			概算人件費…②		524	524	524	524	524	
	総事業費(①+②)…③			2,185		2,709	2,709	2,709	2,709	
						総事業費(R2~R4)				
					8,127					
事業費のうごき	事業費…①の前年度増減率				0%	0%	0%	0%		
	上記増減理由(30%以上の増減の場合記入)									
業績指標	事業目的達成のための成果指標(アウトカム)実績/当初目標		指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標	
			与謝野町体育協会加盟団体加入者数	人	1,714/1,600	1,704/1,600	/1,600	/1,600	1,600	
					/	/	/	/		
	指標で表せない成果・効果									
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込		指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標	
			与謝野町体育協会への活動支援補助金支出	件	1/1	1/1	/1	/1	1	
			単位あたりコスト…③/実績							
			与謝野町体育協会加盟団体数	団体	103/100	106/100	/100	/100	100	
		単位あたりコスト…③/実績		/	/	/	/			
		単位あたりコスト…③/実績								

注)「概算人件費」欄は、便宜上、人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

項 目		評価	評価に対する説明
一次評価（担当課による自己評価）	必要性	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	○ 充実した生涯スポーツ社会の実現のために、体育協会への支援が必要であると考えている。
		民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	○ 社会体育団体活動を支援する事業であり、行政でなければ設置は不可能。
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○ 充実した生涯スポーツ社会の実現のため、社会体育団体活動を支援することは有効であると考えている。
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○ 与謝野町社会教育関係補助金交付要綱に基づき交付しているため妥当であると考えている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	－ 補助金交付要綱に基づき交付しているため評価できるものではない。
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	－ 補助金交付要綱に基づき交付しているため評価できるものではない。
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○ 社会体育団体活動を支援するものであり、実績は適切に把握している。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○ 活動実績は見込みどおり推移している
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○ 体育協会は他市町との交流もあり、相互に情報を共有しながら社会体育活動に反映している。
目的及び指標等の達成状況に対する評価	成果実績、活動実績共に、目標を達成することができています。高齢化が進み加盟人数が減少傾向にある状況です。その中で、充実した生涯スポーツ社会を実現するためにも、本町スポーツ協会への支援は今後も必要であると考えています。		
今後の課題及び方向性【担当課長記入】	充実した生涯スポーツ社会を実現するため、本町スポーツ協会への支援は今後も必要があると考えています。高齢化が進む中で、活動団体、加盟人数が減少しないよう創意工夫をして行く必要があると考えています。		
庁内及び外部による評価	二次評価（庁内）【行革担当課記入】	所 見	
	二次評価（外部）【行革担当課記入】	所 見	
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容
	予算への反映【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充
		予算額の反映状況	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

令和2年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事務事業名		スポーツクラブ育成事業 (コード) 1006010303			担当課	社会教育課		作成責任者	田中 結人		
歳出費目		款	教育費	項	保健体育費	目	保健体育総務費	事業	社会体育団体育成事業 R1新規		
事業属性	総計	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち				分野名				
		施策名	(施策4)生涯スポーツ社会の実現				施策名				
		開始年度	平成17(2005)	終了予定年度	令和8(2026)		関連計画等				
		根拠法令等	与謝野町社会教育関係補助金交付要綱				関連計画等				
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府制度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )						類型	一般型		
基礎情報	事業目的 (目指す姿。何をどんな状態にしたいのか。)	総合型スポーツクラブへの支援を行い、町民の心身の健康、町内外の交流、競技力の向上を図るものです。									
	対象	スポーツクラブ会員及びスポーツ推進委員			対象数	247 (単位) 人		単当たりコスト	2.915		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 ( ) (委託先・実施主体等) かやスポーツクラブ、野田川スポーツクラブ									
	事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	町内の総合型スポーツクラブへ補助金(加悦・野田川)を交付し、スポーツ推進委員によるニュースポーツ教室(岩滝)を実施するものです。									
	取組実績と経費内訳 (R1実績)	R1取組実績							経費科目(節・細節)	R1決算(千円)	
		総合型スポーツクラブ活動の支援							負補交 補助金	570	
執行の状況	区分			H30	H30繰越	R1	R2	R3	R4		
	事業費…①			588		570	580	580	580		
	財源内訳	一般財源		588	0	570					
		国支出金									
		府支出金									
		地方債									
		その他特財									
	特定財源名称										
	職員人件費		従事職員数(正職/正職以外)	/	0.02/0		0.02/0	0.02/0	0.02/0		
			概算人件費…②		150		150	150	150		
総事業費(①+②)…③			588	720		730	730	730			
			総事業費(R2~R4)						2,190		
事業費のうごき	事業費…①の前年度増減率				-3%	2%	0%	0%			
	上記増減理由(30%以上の増減の場合記入)										
業績指標	事業目的達成のための成果指標(アウトカム)実績/当初目標		指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標		
			スポーツクラブ加入者数	人	231/220	241/220	/220	/220	220		
			ニュースポーツ教室参加者数	人	0/50	3/50	/50	/50	0		
	指標で表せない成果・効果										
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込		指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標		
			総合型スポーツクラブ数	団体	2/2	2/2	/2	/2	1		
			単当たりコスト…③/実績								
			ニュースポーツ教室実施回数(5月~翌3月)	回	6/11	10/11	/11	/11	0		
		単当たりコスト…③/実績									
				/	/	/	/				
		単当たりコスト…③/実績									

注)「概算人件費」欄は、便宜上、人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

項 目		評価	評価に対する説明	
一次評価（担当課による自己評価）	必要性	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	充実した生涯スポーツ社会の実現のために、町民の心身の健康、町内外の交流、競技力の向上を図る総合型スポーツクラブへの支援は必要であると考えている。
		民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	○	総合型スポーツクラブ活動を支援する事業であり、行政でなければ設置は不可能。
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	充実した生涯スポーツ社会の実現のため、総合型スポーツクラブ活動を支援することは有効であると考えている。
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	与謝野町社会教育関係補助金交付要綱に基づき交付しているため妥当であると考えている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	—	補助金交付要綱に基づき交付しているため評価できるものではない。
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	—	補助金交付要綱に基づき交付しているため評価できるものではない。
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	総合型スポーツクラブ活動を支援するものであり、実績は適切に把握している。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	岩滝地域のニュースポーツ教室の参加者が低迷しており、総合型スポーツクラブの在り方も含めて検討する必要がある。
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	総合型スポーツクラブ活動では他市町との交流もあり、相互に情報を共有しながら活動を実施している。
目的及び指標等の達成状況に対する評価	岩滝地域で実施していますニュースポーツ教室は、参加者が低迷している状況です。総合型スポーツクラブは、目標を超える方が加入しており、スポーツの場を多く提供することができたと考えています。今後も加入者が減少していかないよう活動を工夫していく必要があると考えています。			
今後の課題及び方向性【担当課長記入】	充実した生涯スポーツ社会を実現するため、本事業は今後も必要があると考えています。しかしながら、ニュースポーツ教室への参加者の低迷や野田川スポーツクラブの活動拠点である野田川体育館の統廃合計画に伴い、スポーツクラブやニュースポーツ教室の在り方を検討する必要があると考えています。			
庁内及び外部による評価	二次評価（庁内）【行革担当課記入】	所 見		
	二次評価（外部）【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
	予算への反映【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	
		予算額の反映状況	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

令和2年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事務事業名		各種スポーツ大会運営事業 (コード) 1006010401			担当課	社会教育課		作成責任者	田中 結人			
歳出費目		款	教育費	項	保健体育費	目	保健体育総務費	事業	スポーツイベント運営支援事業 R1新規			
事業属性	総計	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち				分野名					
		施策名	(施策4)生涯スポーツ社会の実現				施策名					
		開始年度	平成17(2005)		終了予定年度	令和8(2026)		関連計画等				
		根拠法令等										
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府制度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )						類型	一般型			
基礎情報	事業目的 (目指す姿。何をどんな状態にしたいのか。)	各種スポーツイベントを開催して町民の健康増進、体力向上及び住民相互の交流を図るものです。										
	対象	与謝野町民			対象数	21,219 (単位) 人		単位当たりコスト	0.019			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 ( ) (委託先・実施主体等)										
	事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	各種スポーツ大会を開催して町民の方がスポーツを行う機会を創出するものです。										
	取組実績と経費内訳 (R1実績)	R1取組実績							経費科目(節・細節)		R1決算(千円)	
		各種スポーツ大会の開催							需用費	消耗品費	20	
							委託料	その他委託料	7			
執行の状況	区分			H30	H30繰越	R1	R2	R3	R4			
	事業費…①			41		26	40	40	40			
	財源内訳	一般財源		41	0	26						
		国支出金										
		府支出金										
		地方債										
		その他特財								歳入費目(項)		
	職員人件費	従事職員数(正職/正職以外)		/		0.05/0	0.05/0	0.05/0	0.05/0			
		概算人件費…②				374	374	374	374			
	総事業費(①+②)…③			41		400	414	414	414			
						総事業費(R2~R4)			1,242			
事業費のうごき	事業費…①の前年度増減率					-37%	54%	0%	0%			
	上記増減理由(30%以上の増減の場合記入)								スポーツフェスタ開催時の手話通訳者委託料の減額			
業績指標	事業目的達成のための成果指標(アウトカム)実績/当初目標		指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標			
			スポーツイベント参加人数	人	253/250	324/250	/250	/250	250			
					/	/	/	/				
	指標で表せない成果・効果											
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込		指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標			
			スポーツイベント実施数	回	2/2	2/2	/2	/2	2			
			単位あたりコスト…③/実績		/	/	/	/				
			単位あたりコスト…③/実績		/	/	/	/				

注)「概算人件費」欄は、便宜上、人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

項 目		評価	評価に対する説明	
一次評価（担当課による自己評価）	必要性	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	○ 町民の健康増進、体力向上及び住民相互の交流を図るためスポーツイベントの実施は有効だと考えている。	
		民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	○ 町民の健康増進を目的とした非営利イベントのため、民間業者等が担うのは難しいと考えている。	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	△ 町民の健康増進、体力向上及び住民相互の交流を図るためスポーツイベントの実施は有効だと考えている。	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	スポーツイベント実施にあたり必要最低限の費用と考えている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	×	他の手段等とのコスト比較は実施できていない。
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	×	効率化に向けた検討を実施していない。
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	スポーツイベントを通じて、多くの町民にスポーツ活動の場を提供することは必要であり、実績も適切に把握している。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	活動実績は見込みどおり推移している
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	×	外部資源の活用が十分に実施できていない。
目的及び指標等の達成状況に対する評価	<p>成果実績、活動実績共に目標を達成することができています。  町民の健康増進、体力向上及び住民相互の交流を図るため、ニュースポーツのイベントを開催して老若男女多くの町民の参加がありました。誰もが一緒に楽しめるニュースポーツのイベントを実施することで、生涯スポーツの普及に寄与することができたと考えています。</p>			
今後の課題及び方向性【担当課長記入】	<p>今後も、生涯スポーツの普及のために活動を継続する必要があると考えています。  より多くの町民の方々が参加できるような創意工夫をしながらイベントを実施していきたいと考えています。</p>			
庁内及び外部による評価	二次評価（庁内）【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p> <input type="checkbox"/> 次年度廃止/休止 <input type="checkbox"/> 5年以内に廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<input type="checkbox"/> アウトカムとしてニュースポーツや生涯スポーツに参加する住民の増加ということが見れば成果としてはわかりやすく事業の必要性が明確になる。	
	二次評価（外部）【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p> <input type="checkbox"/> 次年度廃止/休止 <input type="checkbox"/> 5年以内に廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<p style="text-align: center;">方針区分</p> <input type="checkbox"/> 次年度廃止/休止 <input type="checkbox"/> 5年以内に廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p style="text-align: center;">内 容</p>	
	予算への反映【財政担当課記入】	<p style="text-align: center;">予算額の反映状況</p> <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	<p style="text-align: center;">担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】</p>	



令和2年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事務事業名		丹後大学駅伝後援会事業 (コード) 1006010402			担当課	社会教育課	作成責任者	田中 結人		
歳出費目		款 教育費	項 保健体育費	目 保健体育総務費	事業	スポーツイベント運営支援事業	R1新規			
事業属性	総計	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名				
		施策名	(施策4)生涯スポーツ社会の実現			施策名				
		開始年度	平成25(2013)	終了予定年度	令和8(2026)	関連計画等				
	根拠法令等									
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府制度事業 <input type="checkbox"/> 町単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( )					類型	一般型		
基礎情報	事業目的 (目指す姿。何をどんな状態にしたいのか。)	丹後大学駅伝の後援を行い、本町のアピールを行うと共に、大学生ランナーが走る姿を見ることで町民のスポーツに対する意識の向上を図るものです。								
	対象	駅伝参加大学生数	対象数	176	(単位)	人	単当たりコスト	6.381		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 ( ) (委託先・実施主体等)								
	事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	丹後大学駅伝の後援を行い、本町のアピールを行うと共に、町民の方に大学生ランナーが走る姿を見る機会を創出するものです。								
	取組実績と経費内訳 (R1実績)	R1取組実績			経費科目(節・細節)			R1決算(千円)		
		丹後大学駅伝への後援			負補交 負担金			150		
執行の状況	区 分			H30	H30繰越	R1	R2	R3	R4	
	事業費…①			150		150	150	150	150	
	財源内訳	一般財源		150	0	150				
		国支出金								
		府支出金								
		地方債								
		その他特財						歳入費目(項)		
	特定財源名称									
	職員人件費		従事職員数(正職/正職以外)	/	0.13/0		0.13/0	0.13/0	0.13/0	
			概算人件費…②		973		973	973	973	
総事業費(①+②)…③			150	1,123		1,123	1,123	1,123		
			総事業費(R2~R4)			3,369				
事業費のうごき	事業費…①の前年度増減率				0%	0%	0%	0%		
	上記増減理由(30%以上の増減の場合記入)									
業績指標	事業目的達成のための成果指標(アウトカム)実績/当初目標		指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標	
			沿線観客者数(宮津警察署管内)	人	7,500/7,000	7,000/7,000	/7,000	/7,000	7,000	
					/	/	/	/		
	指標で表せない成果・効果									
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指 標		単位	H30	R1	R2	R3	最終目標	
		後援会総会の実施		回	1/1	1/1	/1	/1	1	
		単位あたりコスト…③/実績								
		丹後大学駅伝の実施		回	1/1	1/1	/1	/1	1	
単位あたりコスト…③/実績										
			/	/	/	/				

注)「概算人件費」欄は、便宜上、人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

項 目		評価	評価に対する説明	
一次評価（担当課による自己評価）	必要性	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	△	大学生ランナーが走る姿を見ることで町民のスポーツに対する意識の向上を図ることができると考えています。
		民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	○	大会を支援するものであり、行政でなければ実施は不可能。
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	△	町民のスポーツに対する意識向上を図る上で有効であると考えている。
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	後援会に加入している各市町の負担率に基づき負担している。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	—	後援会に加入している各市町の負担率に基づき負担しているため評価できるものではない。
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	—	後援会に加入している各市町の負担率に基づき負担しているため評価できるものではない。
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	町民のスポーツに対する意識向上を図る上で有効であると考えており、適切に実績も把握している。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	活動実績は見込みどおり推移している
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	各関係団体と交流を図ることにより外部資源を活用出来ている。
目的及び指標等の達成状況に対する評価	<p>成果実績、活動実績共に、目標を達成することができています。  京丹後市、宮津市、与謝野町が後援を行い、2市1町をコースに大会を開催しています。  多くの町民の方々に沿道で応援していただいております、スポーツに対する意識向上に寄与していると考えています。</p>			
今後の課題及び方向性【担当課長記入】	<p>普段目にする事のない大学生ランナーの走りを見ることができる大会であるため、町民のスポーツに対する意識向上のためにも、継続していく必要があると考えています。</p>			
庁内及び外部による評価	所 見			
	二次評価（庁内） 【行革担当課記入】 <input type="checkbox"/> 次年度廃止/休止 <input type="checkbox"/> 5年以内に廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<input type="checkbox"/> 広域事業なので実施自体の見直しの必要はないが、観光交流課（観光協会も含む）等と連携して経済効果として宿泊等の誘導も検討する。		
二次評価（外部） 【行革担当課記入】	所 見			
	<input type="checkbox"/> 次年度廃止/休止 <input type="checkbox"/> 5年以内に廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし			
来年度方針	方針区分	内 容		
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 次年度廃止/休止 <input type="checkbox"/> 5年以内に廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	予算への反映【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		
	予算額の反映状況	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】		

## 令和2年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事務事業名		よさの大江山登山マラソン事業 (コード) 1006010403			担当課	社会教育課	作成責任者	田中 結人	
歳出費目		款 教育費	項 保健体育費	目 保健体育総務費	事業	スポーツイベント運営支援事業	R1新規		
事業属性	総計	分野名 (分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名				
		施策名 (施策4)生涯スポーツ社会の実現			施策名				
事業属性	開始年度	平成17(2005)	終了予定年度	令和8(2026)	関連計画等				
	根拠法令等	与謝野町社会教育関係補助金交付要綱							
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府制度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )						類型	一般型	
基礎情報	事業目的 (目指す姿。何をどんな状態にしたいのか。)	よさの大江山登山マラソンを開催して町民の健康増進、体力向上及び本町のアピールと住民相互の交流を図るものです。							
	対象	大会参加者	対象数	835 (単位)	人	単当たりコスト	5.774		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 ( ) (委託先・実施主体等) よさの大江山登山マラソン実行委員会							
	事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	台風等の影響により3年ぶりの開催となった。当日はゲストラナーに「湯田友美」氏をお迎えし、天候にも恵まれ、大きな事故等も無く無事大会を終えることができた。参加申込は835名あり、うち町内の参加者は182名であった。当日は参加申込835名に対し734名の選手が出走した。							
	取組実績と経費内訳 (R1実績)	R1取組実績		経費科目(節・細節)			R1決算(千円)		
	よさの大江山登山マラソン大会実施の支援		負補交 補助金			2,500			
執行の状況	区分		H30	H30繰越	R1	R2	R3	R4	
	事業費…①	財源内訳	一般財源	1,311	0	2,500			
			国支出金						
			府支出金						
			地方債						
			その他特財						
		特定財源名称							
		歳入費目(項)							
	職員人件費	従事職員数(正職/正職以外)	/	0.31/0		0.31/0	0.31/0	0.31/0	
	概算人件費…②			2,321		2,321	2,321	2,321	
総事業費(①+②)…③		1,311		4,821	4,821	4,821	4,821		
	総事業費(R2~R4)				14,463				
事業費のうごき	事業費…①の前年度増減率			91%	0%	0%	0%		
	上記増減理由(30%以上の増減の場合記入)			平成30年度は7月の段階で大会中止を決定したため。					
業績指標	事業目的達成のための成果指標 (アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標	
		大会参加人数	人	0/0	835/1,000	/1,000	/1,000	1,000	
	指標で表せない成果・効果			/	/	/	/		
	活動実績 (アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標	
		実行委員会の実施回数	回	4/4	4/4	/4	/4	4	
		単当たりコスト…③/実績		/	/	/	/		
単当たりコスト…③/実績			/	/	/	/			
単当たりコスト…③/実績		/	/	/	/				

注)「概算人件費」欄は、便宜上、人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

項目		評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	○ 町民の健康増進、体力向上及び本町のアピールと住民相互の交流を図る上で有効な大会だと考えている。
		民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	○ 大会を支援するものであり、行政でなければ実施は不可能。
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	△ 町民の健康増進、体力向上及び本町のアピールと住民相互の交流を図る上で必要だと考えている。
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○ 与謝野町社会教育関係補助金交付要綱に基づき交付しているため妥当であると考えている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	— 補助金交付要綱に基づき交付しているため評価できるものではない。
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	— 補助金交付要綱に基づき交付しているため評価できるものではない。
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○ 町民の健康増進、体力向上及び本町のアピールと住民相互の交流を図る事業であり、実績も適切に把握できている。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○ 活動実績は見込みどおり推移している
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○ 大会実施にあたり関係団体と協議しながら、外部資源の活用を実施している。
目的及び指標等の達成状況に対する評価	スポーツを通じた町内外の交流並びに本町のPRのため、大きな意味を持った大会であると考えています。災害等の影響もあり、今年度3年ぶりに大会を開催することができ、参加者の減少が懸念されたが、目標には届かないまでも835名の方に参加いただいた。		
今後の課題及び方向性【担当課長記入】	今後も生涯スポーツ社会の充実、本町のPRのために継続していく必要があると考えています。今年度3年ぶりの開催ということもあり、参加者の減少が懸念されたが、多くの方に参加いただくことができたと考えている。今後も、より多くの方に参加いただけるよう広報等を工夫するとともに、更に地域のPRに貢献できるよう工夫していく必要があると考えている。		
庁内及び外部による評価	所見		
	二次評価(庁内)【行革担当課記入】	<input type="checkbox"/> 次年度廃止/休止 <input type="checkbox"/> 5年以内に廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<input type="checkbox"/> スポーツ振興という本来の目的に加えて観光誘客や商工振興といった経済効果に目的の比重が置かれているならば、商工部門への移管や複数課で共管して行うことも検討すべき(実行委員会の中に専門的に入ることも一つの方法)。ただし、実行委員会の自主性や関係性を損なわないような形を取るべき(教育委員会の関わりは重要)。 <input type="checkbox"/> 上記の見直しの調整は担当課だけでなく、総務・企画部門も加わること。 <input type="checkbox"/> より参加者を増やすならばフルマラソンコースの新設などの魅力を増やすことも検討する。 <input type="checkbox"/> 資金を投入した経済効果などを測定して事業の必要性を示すことも必要。
二次評価(外部)【行革担当課記入】	所見		
来年度方針	方針区分		内容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 次年度廃止/休止 <input type="checkbox"/> 5年以内に廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算への反映【財政担当課記入】	予算額の反映状況 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

令和2年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事務事業名		与謝野町駅伝競走大会事業 (コード) 1006010404			担当課	社会教育課	作成責任者	田中 結人		
歳出費目		款 教育費	項 保健体育費	目 保健体育総務費	事業	スポーツイベント運営支援事業	R1新規			
事業属性	総計	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名				
		施策名	(施策4)生涯スポーツ社会の実現			施策名				
		開始年度	平成17(2005)	終了予定年度	令和8(2026)	関連計画等				
		根拠法令等	与謝野町社会教育関係補助金交付要綱							
事業区分		<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府制度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )					類型	一般型		
事業目的 (目指す姿。何をどんな状態にしたいのか。)		与謝野町駅伝競走大会を開催して町民の健康増進、体力向上及び住民相互の交流を図るものです。								
対象		与謝野町民	対象数	21,219 (単位)	人	単当たりコスト	0.064			
実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 ( ) (委託先・実施主体等) 与謝野町体育協会								
事業概要 (やり方、手順、手段、手法)		多くの町民にスポーツを行う機会を創出するため、全小学校区から参加を募り大会を開催するものです。								
基礎情報	取組実績と経費内訳 (R1実績)		R1取組実績			経費科目(節・細節)		R1決算(千円)		
			与謝野町駅伝競走大会実施の支援			負補交 補助金		600		
執行の状況	区分		H30	H30繰越	R1	R2	R3	R4		
	事業費…①		600		600	600	600	600		
	財源内訳	一般財源	600	0	600					
		国支出金								
		府支出金								
		地方債								
		その他特財								
	特定財源名称									
	職員人件費		従事職員数(正職/正職以外)	/	0.1/0	0.1/0	0.1/0	0.1/0		
			概算人件費…②		749	749	749	749		
総事業費(①+②)…③		600		1,349	1,349	1,349	1,349			
		総事業費(R2~R4)			4,047					
事業費のうごき		事業費…①の前年度増減率		0%	0%	0%	0%			
		上記増減理由(30%以上の増減の場合記入)								
業績指標	事業目的達成のための成果指標(アウトカム)実績/当初目標		指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標	
			大会参加チーム数	数	10/10	10/10	/10	/10	10	
					/	/	/	/		
	指標で表せない成果・効果									
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込		指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標	
			与謝野町駅伝競走大会実行委員会への支援	回	1/1	1/1	/1	/1	1	
		単位あたりコスト…③/実績		/	/	/	/			
		単位あたりコスト…③/実績		/	/	/	/			
		単位あたりコスト…③/実績		/	/	/	/			

注)「概算人件費」欄は、便宜上、人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

項 目		評価	評価に対する説明
一次評価（担当課による自己評価）	必要性	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	○ 町民の健康増進、体力向上及び住民相互の交流を図る上で有効な大会あると考えている。
		民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	○ 大会を支援するものであり、行政でなければ実施は不可能。
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	△ 町民の健康増進、体力向上及び住民相互の交流を図る上で有効な大会あると考えている。
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○ 与謝野町社会教育関係補助金交付要綱に基づき交付しているため妥当であると考えている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	－ 補助金交付要綱に基づき交付しているため評価できるものではない。
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	－ 補助金交付要綱に基づき交付しているため評価できるものではない。
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○ 町民の健康増進、体力向上及び住民相互の交流を図る上で有効な大会あると考えており、実績も適切に把握している。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○ 活動実績は見込みどおり推移している
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○ 大会実施にあたり関係団体と協議しながら、外部資源の活用を実施している。
目的及び指標等の達成状況に対する評価	成果指標、活動実績共に目標を達成できています。 町民の関心も高く、子どもから大人まで多くの方が関わる大会であるため、生涯スポーツ社会の実現に大きく寄与していると考えています。		
今後の課題及び方向性【担当課長記入】	町民の方々の関心も高く、スポーツを通じた町民の健康増進、体力向上及び住民相互の交流を図るためにも、活動を継続して行く必要があると考えています。		
庁内及び外部による評価	二次評価（庁内）【行革担当課記入】	所 見	<input type="checkbox"/> 次年度廃止/休止 <input type="checkbox"/> 5年以内に廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし ○特に意見なし
	二次評価（外部）【行革担当課記入】	所 見	<input type="checkbox"/> 次年度廃止/休止 <input type="checkbox"/> 5年以内に廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容
	予算への反映【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 次年度廃止/休止 <input type="checkbox"/> 5年以内に廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	予算額への反映状況
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	

令和2年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事務事業名		社会体育事務事業 (コード) 1006015001			担当課	社会教育課	作成責任者	田中 結人		
歳出費目		款 教育費	項 保健体育費	目 保健体育総務費	事業	保健体育総務費一般経費	R1新規			
事業属性	総計	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち		分野名					
		施策名	(施策4)生涯スポーツ社会の実現		施策名					
		開始年度	平成17(2005)	終了予定年度	令和8(2026)	関連計画等				
		根拠法令等	与謝野町教育委員会事務局組織規則							
		事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府制度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )				類型	内部管理型		
基礎情報	事業目的 (目指す姿。何をどんな状態にしたいのか。)	社会体育事務を円滑に行い、充実した生涯スポーツ社会の実現を図るものです。								
	対象	体育協会・スポーツ少年団加入者並びにスポーツ事	対象数	2,058	(単位)	人	単当たりコスト	0.275		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 ( ) (委託先・実施主体等)								
	事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	京都府体育協会・スポーツ少年団事務担当者会議へ出席します。また、事務を円滑に進めるために消耗品等を購入するものです。								
	取組実績と経費内訳 (R1実績)	R1取組実績			経費科目(節・細節)		R1決算(千円)			
		京都府体育協会・スポーツ少年団事務担当者会議へ出席			旅費 普通旅費		8			
		社会体育事務			需用費 消耗品費		19			
					需用費 燃料費		76			
					役務費 郵便料		15			
執行の状況	区分			H30	H30繰越	R1	R2	R3	R4	
	事業費…①			157		117	126	126	126	
	財源内訳	一般財源		157	0	117				
		国支出金								
		府支出金								
		地方債								
		その他特財								
	特定財源名称									
	職員人件費		従事職員数(正職/正職以外)	/	0.06/0		0.06/0	0.06/0	0.06/0	
			概算人件費…②			449	449	449	449	
総事業費(①+②)…③			157		566	575	575	575		
					総事業費(R2~R4) 1,725					
事業費のうごき	事業費…①の前年度増減率					-25%	8%	0%	0%	
	上記増減理由(30%以上の増減の場合記入)									
業績指標	事業目的達成のための成果指標(アウトカム)実績/当初目標		指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標	
					/	/	/	/		
					/	/	/	/		
	指標で表せない成果・効果		社会体育事業の円滑な執行							
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込		指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標	
			京都府体育協会・スポーツ少年団事務担当者会議へ出席	回	1/1	1/1	/1	/1	1	
			単当たりコスト…③/実績		/	/	/	/		
		単当たりコスト…③/実績		/	/	/	/			
		単当たりコスト…③/実績		/	/	/	/			

注)「概算人件費」欄は、便宜上、人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

項 目		評価	評価に対する説明	
一次評価（担当課による自己評価）	必要性	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	—	社会体育事務全般を下支えする経費であり、必要性はあるものの評価の基準を定め難い。
		民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	—	社会体育事務全般を下支えする経費であり、必要性はあるものの評価の基準を定め難い。
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	—	社会体育事務全般を下支えする経費であり、必要性はあるものの評価の基準を定め難い。
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	—	社会体育事務全般を下支えする経費であり、必要性はあるものの評価の基準を定め難い。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	—	社会体育事務全般を下支えする経費であり、必要性はあるものの評価の基準を定め難い。
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	—	社会体育事務全般を下支えする経費であり、必要性はあるものの評価の基準を定め難い。
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	—	社会体育事務全般を下支えする経費であり、必要性はあるものの評価の基準を定め難い。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	—	社会体育事務全般を下支えする経費であり、必要性はあるものの評価の基準を定め難い。
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	—	社会体育事務全般を下支えする経費であり、必要性はあるものの評価の基準を定め難い。
目的及び指標等の達成状況に対する評価	社会体育事務全般を下支えする経費であり、特定の事業として評価することは困難であると考えます。			
今後の課題及び方向性【担当課長記入】	主に公用車のガソリン代等であり、必要なものであると判断しています。			
庁内及び外部による評価	二次評価（庁内）【行革担当課記入】	所 見		
	二次評価（外部）【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
	予算への反映【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	
		予算額の反映状況	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	



令和2年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事務事業名		損害保険事業 (コード) 1006015002			担当課	社会教育課		作成責任者	田中 結人			
歳出費目		款	教育費	項	保健体育費	目	保健体育総務費	事業	保健体育総務費一般経費	R1新規		
事業属性	総計	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち				分野名					
		施策名	(施策4)生涯スポーツ社会の実現				施策名					
		開始年度	平成17(2005)	終了予定年度	令和8(2026)		関連計画等					
		根拠法令等										
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府制度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )							類型	内部管理型		
基礎情報	事業目的 (目指す姿。何をどんな状態にしたいのか。)	本町内で行うスポーツイベント並びに府民総体を始めとする町民が参加するスポーツイベントに対して傷害保険に加入することにより、スポーツを行う人を支援するものです。										
	対象	イベント参加者	対象数	3,100 (単位) 人		単位当りコスト	0.079					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 ( ) (委託先・実施主体等)										
	事業概要 (やり方、手順、手段、手法)											
	取組実績と経費内訳 (R1実績)	R1取組実績							経費科目(節・細節)	R1決算(千円)		
		町公認スポーツイベントに対する損害保険への加入							役員費 傷害保険料	170		
執行の状況	区分			H30	H30繰越	R1	R2	R3	R4			
	事業費…①	財源内訳	一般財源	300	0	170	200	200	200			
			国支出金									
			府支出金									
			地方債									
			その他特財									
		特定財源名称										
	職員人件費	従事職員数(正職/正職以外)		/	0.01/0		0.01/0	0.01/0	0.01/0			
		概算人件費…②			75		75	75	75			
	総事業費(①+②)…③			300	245		275	275	275			
			総事業費(R2~R4)			825						
事業費のうごき	事業費…①の前年度増減率				-43%		18%	0%	0%			
	上記増減理由(30%以上の増減の場合記入)				加入スポーツイベントを精査した結果減額							
業績指標	事業目的達成のための成果指標(アウトカム)実績/当初目標		指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標			
	スポーツ保険加入対象者数		人		4,500/4,500	3,100/4,500	/4,500	/4,500	4,500			
	指標で表せない成果・効果				/	/	/	/				
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込		指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標			
	保険対象事業数		数		27/27	26/27	/27	/27	27			
	単位あたりコスト…③/実績				/	/	/	/				
	単位あたりコスト…③/実績				/	/	/	/				
単位あたりコスト…③/実績				/	/	/	/					

注)「概算人件費」欄は、便宜上、人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

項 目		評価	評価に対する説明	
一次評価（担当課による自己評価）	必要性	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	生涯スポーツ社会の実現のために、町民が安心してスポーツイベントに参加できるよう保険加入が必要だと考えている。
		民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	○	町公認スポーツイベントに対する損害保険への加入費用であり行政でなければ実施は不可能。
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	町民が安心してスポーツイベントに参加できるよう保険加入が必要だと考えている。
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	保険加入にあたり必要経費であり、加入イベントについては精査を実施した。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	－	保険事業であり、他の手法と比較することはできない。
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	加入イベントについては精査し、工夫を行っている。
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	－	スポーツイベント実施に関わる損害保険料であり、必要性はあるものの評価の基準を定め難い。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	－	スポーツイベント実施に関わる損害保険料であり、必要性はあるものの評価の基準を定め難い。
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	－	スポーツイベント実施に関わる損害保険料であり、必要性はあるものの評価の基準を定め難い。
目的及び指標等の達成状況に対する評価	生涯スポーツ社会の実現のために町民の方々が安心してスポーツイベントに参加できるよう保険加入が必要だと考えています。			
今後の課題及び方向性【担当課長記入】	町民の方々が安心してスポーツイベントに参加できるよう本事業を継続することが必要だと考えています。			
庁内及び外部による評価	二次評価（庁内）【行革担当課記入】	所 見		
	二次評価（外部）【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
	予算への反映【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	
		予算額の反映状況	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

令和2年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事務事業名		屋外体育施設管理運営事業 (コード) 1006020101			担当課	社会教育課		作成責任者	田中 結人		
歳出費目		款	教育費	項	保健体育費	目	社会体育施設管理費	事業	屋外体育施設管理運営事業	R1新規	
事業属性	総計	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名					
		施策名	(施策4)生涯スポーツ社会の実現			施策名					
		開始年度	平成17(2005)	終了予定年度	令和8(2026)	関連計画等					
		根拠法令等	与謝野町立体育施設条例及び施行規則								
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府制度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )						類型	施設管理型		
基礎情報	事業目的 (目指す姿。何を どんな状態にし たいのか。)	町民が安心してスポーツに親しむことが出来る生涯スポーツ社会の実現を支援するため、社会体育施設の適正管理、適正配置を行うものです。									
	対象	施設利用者	対象数	36,008 (単位) 人		単当たりコスト	0.389				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 ( ) (委託先・実施主体等) 与謝野町体育協会、中央公民館、加悦地域公民館									
	事業概要 (やり方、手順、手 段、手法)	町内に旧町毎に3か所に有るスポーツ施設の維持管理業務。予約業務については、全て体育協会や公民館等に委託。維持管理については、各業者へ清掃、草刈等委託。施設修繕は、大江山運動公園グラウンド夜間照明修繕、城山公園テニスコート夜間照明修繕、岩滝グラウンド法面復旧工事等を実施。									
	取組実績と 経費内訳 (R1実績)	R1取組実績				経費科目(節・細節)			R1決算(千円)		
		施設維持管理費				需用費	光熱水費			4,007	
						需用費	修繕料			1,470	
						工事請負費	岩滝グラウンド法面復旧工事費			3,332	
		各施設の保守管理業務委託				委託料	自家用電気工作物保安業務委託			170	
						委託料	浄化槽維持管理委託料			296	
各施設の清掃、草刈り、樹木管理費				委託料	清掃作業委託料			422			
				委託料	草刈作業委託料			450			
				委託料	植木刈込委託料			1,298			
執行の状況	区 分			H30	H30繰越	R1	R2	R3	R4		
	事業費…①			9,086		11,778	8,296	8,296	8,296		
	財源内訳	一般財源		7,590	0	10,278					
		国支出金									
		府支出金									
		地方債									
		その他特財		1,496		1,500					
	特定財源 名称	体育施設使用料				1,476					
		自販機等敷地使用料				24					
	職員人件費			従事職員数(正職/正職以外)		/	0.3/0	0.3/0	0.3/0	0.3/0	
			概算人件費…②			2,246	2,246	2,246	2,246		
総事業費(①+②)…③			9,086		14,024	10,542	10,542	10,542			
						総事業費(R2~R4)			31,626		
事業費の うごき	事業費…①の前年度増減率				30%	-30%	0%	0%			
	上記増減理由(30%以上の増減の場合記入)				岩滝グラウンド法面復旧工事等大規模な修繕が発生したため。						
業績指標	事業目的達成のための成果指標 (アウトカム) 実績/当初目標		指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標		
			施設の利用者数	数	3,267/40,000	36,008/41,000	/41,000	/41,000	42,000		
			事故件数	件	0/0	0/0	/0	/0	0		
	指標で表せない 成果・効果		町民の健康増進、競技力の向上								
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指 標		単位	H30	R1	R2	R3	最終目標		
		グラウンドの開設日数		日	359/359	359/359	/359	/359	359		
		単位あたりコスト…③/実績									
		テニスコートの開設日数		日	359/359	359/359	/359	/359	359		
		単位あたりコスト…③/実績									
		ゲートボール場の開設日数		日	359/359	359/359	/359	/359	359		
		単位あたりコスト…③/実績									

注)「概算人件費」欄は、便宜上、人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

項 目		評価	評価に対する説明	
一次評価（担当課による自己評価）	必要性	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	生涯スポーツ社会実現のため、社会体育施設の適正な管理事業は必要だと考えている。
		民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	○	社会体育施設の維持管理事業であり、行政でなければ実施は不可能。
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	生涯スポーツ社会実現のため、社会体育施設の適正な管理事業は必要だと考えている。
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	町外の利用者には3倍の料金を徴収しているが、合併後一度も料金の値上げはしていない状況であり、全町的に料金の検討が必要だと考えている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	施設の維持管理についてコストと効果を検討しながら実施している。
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	極力職員で出来る範囲は職員で実施し、その他についてもコスト削減や効率化を念頭に置きながら実施している。
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	生涯スポーツ社会実現のため、社会体育施設の適正な管理事業は必要だと考えており、実績についても適切に把握している。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	活動実績は見込みどおり推移している。
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	他市町の類似施設の管理状況等についても随時情報交換を行っている。
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	町民の方々が安心してスポーツに親しむことが出来る生涯スポーツ社会の実現を目指して、体育施設の適正な維持、管理運営を行っており、老朽化による不具合や突発的な故障等においても、適切に対応しています。 また、今年度においても事故件数ゼロで推移しています。 ただし、利用状況については、人口の減少や高齢化により、述べ人数は減っている状況です。		
今後の課題及び方向性【担当課長記入】	今後も町民の方々が気軽にスポーツを親しむ環境作りが必要であり、そのためには、定期的な施設の点検を怠ることなく、事故等無く推移していきたいと考えています。 しかしながら、各施設共に老朽化による故障等が多く一定の維持管理費が必要と考えています。 また、施設利用者の利便性向上のため、予約方法等の検討をする必要があると考えています。			
庁内及び外部による評価	二次評価（庁内）【行革担当課記入】	所 見		
	二次評価（外部）【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
	予算への反映【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	
		予算額の反映状況	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

令和2年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事務事業名		屋内体育施設維持管理事業 (コード) 1006020201		担当課	社会教育課	作成責任者	田中 結人		
歳出費目		款 教育費	項 保健体育費	目 社会体育施設管理費	事業 屋内体育施設管理運営事業	R1新規			
事業属性	総計	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち		分野名				
		施策名	(施策4)生涯スポーツ社会の実現		施策名				
		開始年度	平成17(2005)	終了予定年度	令和8(2026)	関連計画等			
		根拠法令等	与謝野町立体育施設条例及び施行規則						
事業区分		<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府制度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )				類型	施設管理型		
事業目的 (目指す姿。何をどんな状態にしたいのか。)		町民が安心してスポーツに親しむことが出来る生涯スポーツ社会の実現を支援するため、社会体育施設の適正管理、適正配置を行うものです。							
対象		施設利用者	対象数	35,258 (単位)	人	単位当りコスト	0.289		
実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 ( ) (委託先・実施主体等) 与謝野町体育協会、中央公民館、加悦地域公民館							
事業概要 (やり方、手順、手段、手法)		町内に旧町毎に3か所に有るスポーツ施設の維持管理業務。予約業務については、全て体育協会や公民館等に委託。維持管理については、各業者へ清掃等委託。施設修繕は、野田川体育館の軒先修繕等を実施。							
基礎情報	取組実績と経費内訳 (R1実績)		R1取組実績		経費科目(節・細節)		R1決算(千円)		
			施設維持管理費		需用費 光熱水費		1,540		
					需用費 修繕料		470		
			各施設の保守管理業務		委託料 自家用電気工作物保安業務委託		157		
					委託料 消防施設定期点検委託料		24		
			各施設の清掃等管理業務		委託料 浄化槽維持管理委託料		176		
				委託料 清掃作業委託料		134			
		岩滝体育施設管理運営		委託料 岩滝体育施設管理運営事業委託		3,485			
執行の状況	区分			H30	H30繰越	R1	R2	R3	R4
	事業費…①			7,713		7,936	10,278	10,278	10,278
	財源内訳			6,349	0	6,653			
	一般財源								
	国支出金								
	府支出金								
	地方債								
	その他特財			1,364		1,283			
	特定財源名称					1,235			
	体育施設使用料								
自販機等敷地使用料					48				
職員人件費									
従事職員数(正職/正職以外)			/		0.3/0	0.3/0	0.3/0	0.3/0	
概算人件費…②					2,246	2,246	2,246	2,246	
総事業費(①+②)…③			7,713		10,182	12,524	12,524	12,524	
総事業費(R2~R4)							37,572		
事業費のうごき									
事業費…①の前年度増減率					3%	30%	0%	0%	
上記増減理由(30%以上の増減の場合記入)									
業績指標	事業目的達成のための成果指標(アウトカム)実績/当初目標		指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
			施設の利用者数	数	5,882/40,000	35,258/40,000	/40,000	/40,000	27,000
			事故件数	件	0/0	0/0	/0	/0	0
	指標で表せない成果・効果		町民の健康増進、競技力の向上						
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込		指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
			体育館の開設日数	日	359/359	359/359	/359	/359	359
			単位あたりコスト…③/実績						
					/	/	/	/	
			単位あたりコスト…③/実績						
					/	/	/	/	
		単位あたりコスト…③/実績							

注)「概算人件費」欄は、便宜上、人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

項 目		評価	評価に対する説明	
一次評価（担当課による自己評価）	必要性	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	生涯スポーツ社会実現のため、社会体育施設の適正な管理事業は必要だと考えている。
		民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	○	社会体育施設の維持管理事業であり、行政でなければ実施は不可能。
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	生涯スポーツ社会実現のため、社会体育施設の適正な管理事業は必要だと考えている。
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	町外の利用者には3倍の料金を徴収しているが、合併後一度も料金の値上げはしていない状況であり、全町的に料金の検討が必要だと考えている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	施設の維持管理についてコストと効果を検討しながら実施している。
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	極力職員で出来る範囲は職員で実施し、その他についてもコスト削減や効率化を念頭に置きながら実施している。
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	生涯スポーツ社会実現のため、社会体育施設の適正な管理事業は必要だと考えており、実績についても適切に把握している。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	活動実績は見込みどおり推移している。
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	他市町の類似施設の管理状況等についても随時情報交換を行っている。
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	町民の方々が安心してスポーツに親しむことが出来る生涯スポーツ社会の実現を目指して、体育施設の適正な維持、管理運営を行っており、老朽化による不具合や突発的な故障等においても適切に対応しています。 また、今年度においても事故件数ゼロで推移しています。 ただし、利用状況については、人口の減少や高齢化により述べ人数は減っている状況です。		
今後の課題及び方向性【担当課長記入】	今後も町民の方々が気軽にスポーツを親しむ環境作りが必要であり、そのためには、定期的な施設の点検を怠ることなく、事故等無く推移していきたいと考えています。 しかしながら、各施設共に老朽化による故障等が多く一定の維持管理費が必要と考えています。 また、施設利用者の利便性向上のため、予約方法等の検討をする必要があると考えています。			
庁内及び外部による評価	二次評価（庁内）【行革担当課記入】	所 見		
	二次評価（外部）【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
	予算への反映【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	
		予算額の反映状況	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

令和2年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事務事業名		給食センター管理運営事業 (コード) 10060302001			担当課	学校教育課	作成責任者	西村 彰洋				
歳出費目		款 教育費	項 保健体育費	目 学校給食費	事業	給食センター管理運営事業	R1新規	-				
事業属性	総計	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名						
		施策名	(施策2)一人ひとりを大切にす環境の整備			施策名						
		開始年度	平成17(2005)	終了予定年度	令和8(2026)	関連計画等						
		根拠法令等	学校給食法									
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府制度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )					類型	一般型				
基礎情報	事業目的 (目指す姿。何をどんな状態にしたいのか。)	児童生徒の心身の健全な発達に資するため、適切な栄養摂取による健康保持・増進と望ましい食習慣を養うとともに、学校生活における食育の推進・充実を図る。										
	対象	与謝野町の児童生徒、園児、宮津市の一部生徒及び教職員等	対象数	1,640	(単位)	人	単当たりコスト	108.541				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 ( ) (委託先・実施主体等)										
	事業概要 (やり方、手順、手段、手法)	栄養教諭が作成した献立に基づき、季節の食材や行事食、郷土料理などを取り入れた学校給食を提供する。 地産地消を推進するため、地場産農作物を可能な限り取り入れた献立とする。 児童生徒が食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることができるよう食育の推進を図る。 対象施設: 町内小学校7校、中学校3校、三河内幼稚園(11施設)										
	取組実績と経費内訳 (R1実績)	R1取組実績			経費科目(節・細節)			R1決算(千円)				
		学校給食あり方検討委員会の開催(年4回)、給食センター運営委員会の開催(年1回)、献立指導部会(年4回)、食育だより(年6回)、給食指導(各施設とも学期1回)、食育指導(各施設に巡回指導年1回)			報償費 委員等謝礼			126				
		町内11施設への給食の提供(延275,847人)			消耗品費、役務費等			2,615				
		アレルギー対応食の対象人数(鶏卵25人、魚卵22人)			燃料費、光熱水費			9,662				
		センター及び厨房機器の維持管理			燃料費			70,732				
		配送車の維持管理(保有車両数:配送車4台、公用車1台)			施設保守点検委託料、修繕料、役務費			5,268				
			消耗品費、光熱水費			4,123						
			燃料費、使費			166						
			運転業務委託料			1,238						
			修繕料、燃料費			1,220						
			役務費他			683						
執行の状況	区 分			H30	H30繰越	R1	R2	R3	R4			
	事業費の うごき	事業費…①			100,577		95,833	93,623	93,623	93,623		
		財源内訳	一般財源			7,312	0	7,032				
			国支出金									
			府支出金									
			地方債									
			その他特財			93,265		88,801				
			特定財源 名称	給食費実費徴収金					69,065			
				その他(給食残品物販売)					5			
		運営費負担金					19,731					
職員人件費			従事職員数(正職/正職以外)			27	27	27	27			
			概算人件費…②			82,175	82,175	82,175	82,175			
総事業費(①+②)…③			100,577		178,008	175,798	175,798	175,798				
			総事業費(R2~R4)			527,394						
事業費…①の前年度増減率					-5%	-2%	0%	0%				
上記増減理由(30%以上の増減の場合記入)												
業績指標	事業目的達成のための成果指標(アウトカム)実績/当初目標			指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標		
	残菜量の削減			kg			292.7	277	262	170		
	指標で表せない成果・効果			栄養バランスの取れた食事の提供を行うのが目的のため、成果を数値として表すのは困難。								
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標			単位	H30	R1	R2	R3	最終目標		
		学校給食費の徴収率			%	100	100.00	100.00	100.00	100		
		単位あたりコスト…③/実績										
		アレルギーに対応した代替食の実施(鶏卵・魚卵)			人数	27	29	33	33	33		
		単位あたりコスト…③/実績										
	地元食材を利用した郷土料理献立の実施			回数	6	6	6	6	6			
	単位あたりコスト…③/実績											

注)「概算人件費」欄は、便宜上、人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

項 目		評価	評価に対する説明	
一次評価（担当課による自己評価）	必要性	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	食育の推進や運動による基礎体力の向上など、児童生徒の健やかな心身の発達に寄与している。
		民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	△	福知山市は公設民営、宮津市は民設民営で、民間事業者を取り入れている自治体がある。与謝野町として引き続き、公設公営で建て替え等を進めるのか、検討する必要がある。
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	2005年の「食育基本法」の制定により、食育に力をいれている。また、現在では共働き家庭や貧困家庭等のすべての子供たちのセーフティネットとして学校給食は、発展、定着している。
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	×	保護者からの負担で、食材費を購入しているが、7、8年保護者負担額に変わりが無い。食材費が高騰する場合には、保護者負担の増も検討する必要がある。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	まず優先すべきは、衛生管理の徹底と地元食材を優先的に調達することであるため、コスト比較については、優先順位が低い。
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	衛生管理を徹底する必要がある、調理に係る物品等のコスト削減をする事が出来ない。
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	残菜量を毎日計測して管理している。また、食習慣の改善を目的に、給食指導を行っており、健やかな心身の発達に寄与している。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	学校給食において、その都度、『アレルギー代替食』を用意し、また近年家庭の食卓に上ることが少なくなった郷土料理を地元食材を利用して提供している。
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	『食中毒防止』に関する参考資料、『食物アレルギー』に対応する参考資料を用いて研鑽を行っている。
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	安心安全な学校給食の提供はもちろんの事、栄養バランスの取れた食事を提供することにより、児童生徒の成長に貢献した。また近年は困窮世帯の児童生徒が約7人に1人の中で、そういった子に対してのセーフティネットとして学校給食は不可欠であり、今後も継続していく必要がある。		
	今後の課題及び方向性【担当課長記入】	学校給食センターの老朽化に伴い、できるだけ早い時期に建て替えを行う必要がある。移設候補地の選定、運営方法の選定などについて協議するため、昨年度において「学校給食あり方検討委員会」を開催した。		
庁内及び外部による評価	二次評価（庁内）【行革担当課記入】	所 見		
	二次評価（外部）【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
	予算への反映【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	
		予算額の反映状況	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	



令和2年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事務事業名	給食センター等施設整備事業 (コード) 10060303001			担当課	学校教育課	作成責任者	西村 彰洋		
	歳出費目	款 教育費	項 保健体育費	目 学校給食費	事業	給食センター施設整備事業	R1新規	-		
	総計	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名				
		施策名	(施策2)一人ひとりを大切にする環境の整備			施策名				
	開始年度	平成17(2005)	終了予定年度	令和8(2026)		関連計画等				
	根拠法令等	学校給食法								
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府制度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 町単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )						類型	一般型		
基礎情報	事業目的 (目指す姿、何を どんな状態にし たいのか。)	給食センター等施設管理維持を行うため、機械の修繕や更新の実施								
	対象	与謝野町の児童生徒、園児、宮津市の一部生徒及び教職員等		対象数	1,640	(単位)	人	単当たりコスト	2,785	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 ( ) (委託先・実施主体等)								
	事業概要 (やり方、手順、手 段、手法)	老朽化している調理機器について随時更新・改修を行っているため、故障等が原因で給食を提供できなかったということはない。また、機械設備に不具合が発生していないか、職員による日々点検・整備を行っており、必要に応じて修繕・改修を行う。								
	取組実績と 経費内訳 (R1実績)	R1取組実績			経費科目(節・細節)			R1決算(千円)		
	岩滝小学校以外の小・中学校等に給食を提供するための、米飯詰機の部品取り換え修繕、消毒保管機の修繕			需用費 修繕料			2,321			
執行の状況	区 分			H30	H30繰越	R1	R2	R3	R4	
	事業費…①	財源内訳	一般財源	1,527	0	1,903				
			国支出金							
			府支出金							
			地方債							
			その他特財			418				
			特定財源 名称	施設整備負担金			418			
	職員人件費	従事職員数(正職/正職以外)			2	2	2	2		
		概算人件費…②			2,246	2,246	2,246	2,246		
	総事業費(①+②)…③			1,527		4,567	5,246	5,246	5,246	
			総事業費(R2~R4)			15,738				
事業費の うごき	事業費…①の前年度増減率				52%	29%	0%	0%		
	上記増減理由(30%以上の増減の場合記入)									
業績指標	事業目的達成のための成果指標 (アウトカム) 実績/当初目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標		
		施設の不具合により提供することができなかった回数	回数		0	0	0	0		
	指標で表せない 成果・効果									
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見 込	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標		
		職員による適正管理・点検を行う	月	/	12	12	12	12		
		単当たりコスト…③/実績								
単当たりコスト…③/実績										
単当たりコスト…③/実績										

注)「概算人件費」欄は、便宜上、人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

項 目		評価	評価に対する説明
一次評価（担当課による自己評価）	必要性	町民ニーズや社会のニーズを的確に捉えた事業か	○ 学校給食が確実に実施できるよう、必要な機械の修繕や更新を行っている。
		民間事業者や町民が自ら実施することのできない事業か	－ 町が行うべき事業であり、民間事業者や町民が行うべきものではない。
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○ 学校給食を確実に実施するためには、機械の修繕や更新を実施する必要があるため、優先度の高い事業である。
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○ 施設の不具合により提供することができないという事態をさけるため、必要な修繕を行っている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○ 更新、改修を行うときは、見積書を提出させ、手段や方法について比較検討を十分に行っている。
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△ 学校給食を提供することが何よりも優先される。そのために必要な機械の修繕や更新を行っており、効率化等の考え方はそぐわない。
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○ 業者による厨房機械器具の定期点検を実施し、機械器具の状況を把握等を行っている。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○ 学校給食が確実に実施できるよう、職員による適正な管理・点検を行っている。
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△ 必要に応じて機械器具の修繕や更新を行っているため、先行事例の分析等は十分に行っていない。
目的及び指標等の達成状況に対する評価	業者による厨房機械器具点検を行い、修繕等を行う事により安心安全な学校給食の提供を行った。今後も継続していく必要がある。		
今後の課題及び方向性【担当課長記入】	学校給食センターの施設設備の老朽化に伴い、できるだけ早い時期に建て替えが行いたい。その間、業者による厨房機器の点検業務や調理員による日常点検を行い、施設設備の管理を行う。		
庁内及び外部による評価	二次評価（庁内）【行革担当課記入】	所 見	
	二次評価（外部）【行革担当課記入】	所 見	
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容
	予算への反映【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充
		予算額の反映状況	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】